

令和7年度

学 校 要 覧



「元気・笑顔・自立」

沖 縄 県 立 宮 古 特 別 支 援 学 校

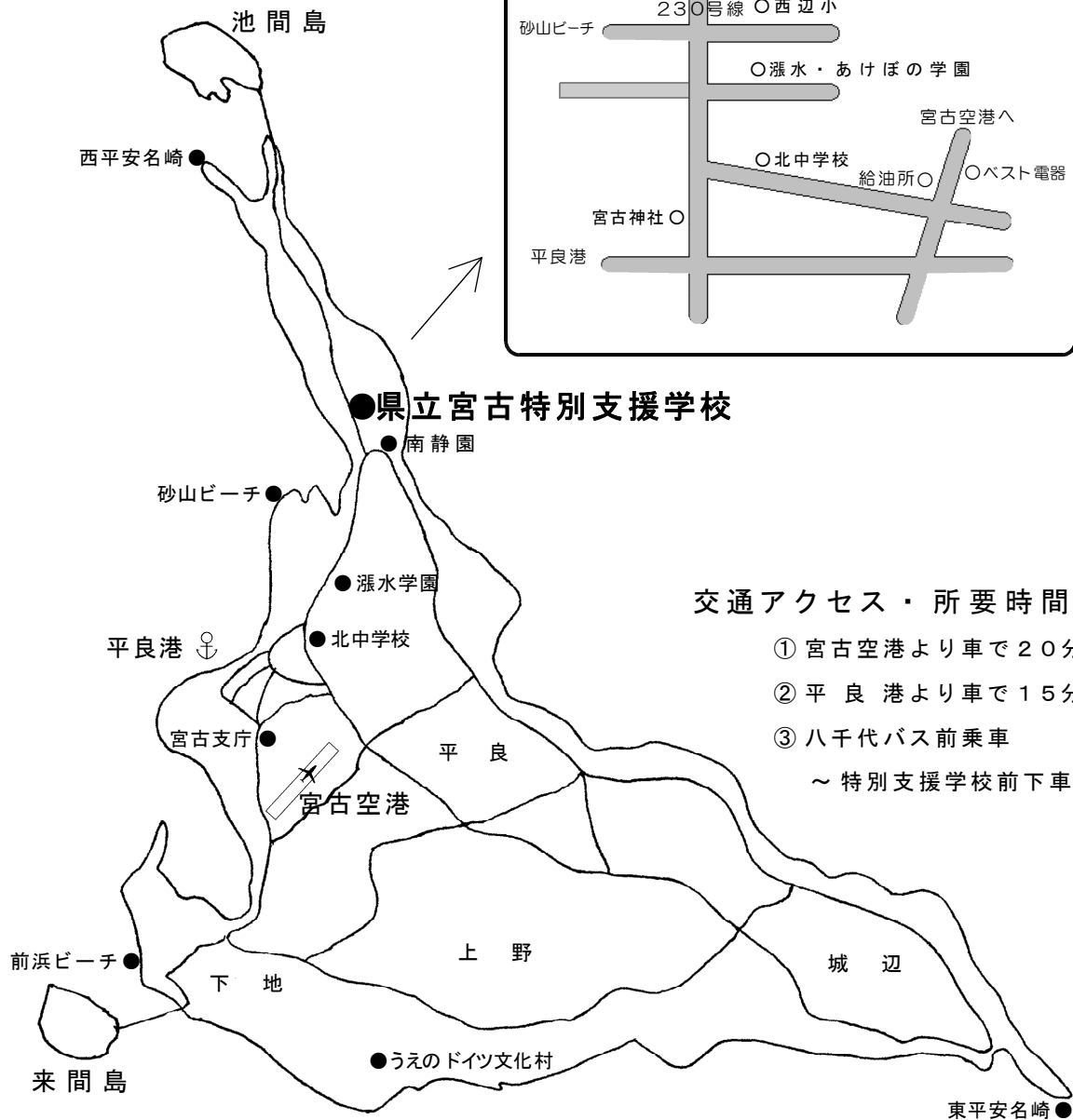
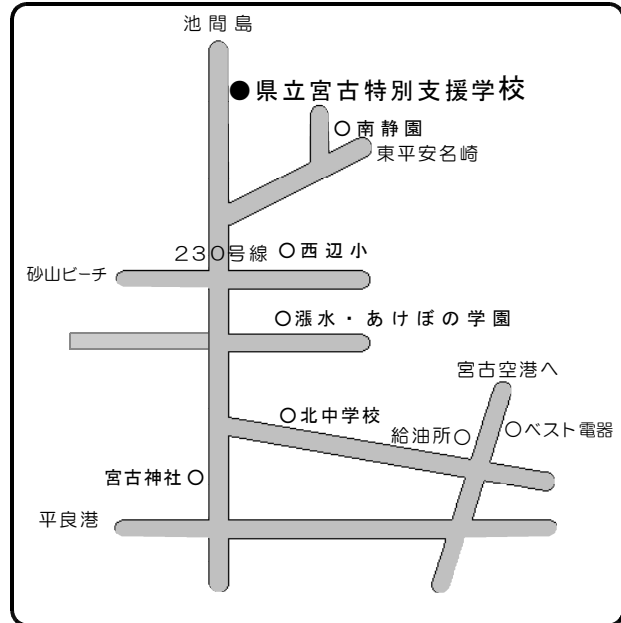
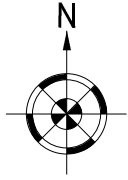
〒906-0002 沖縄県宮古島市平良字狩俣4005-1

TEL 0980-72-5117 FAX 0980-72-5320

E-MAIL school@miyako-sh.open.ed.jp

Homepage <http://www.miyako-sh.open.ed.jp>

学校への経路案内





交通アクセス・所要時間

- ① 宮古空港より車で20分
- ② 平良港より車で15分
- ③ 八千代バス前乗車
～ 特別支援学校前下車

目 次

学校への経路案内	
校 章	
校 歌	
I 学校の沿革	
1 設置学部	1
2 学校沿革の概要	1
3 歴代管理職・PTA 会長一覧	9
4 校舎配置及び施設の現況	10
II 学校教育の基本構想	
1 本県の目指す教育の姿	11
2 学校の教育目標（スクールミッション）	11
3 学校の教育目標を達成するための基本方針	11
4 本年度の重点目標と具体的な実践計画	11
5 教育課程編成の基本方針	12
III 教育課程	
1 幼稚部教育課程	13
2 小学部教育課程	16
3 中学部教育課程	27
4 高等部教育課程	37
5 週時程表（幼・小・中・高等部）	48
6 学級編制・幼児児童生徒数	50
7 使用教科書一覧	51
IV 幼児児童生徒の実態	
1 疾病、障害の状況	52
2 卒業生の進路状況	53
3 幼児児童生徒数	54
4 市町村（本人住民基本台帳）別幼児児童生徒数	55
5 市町村（保護者等住民基本台帳）別幼児児童生徒数	56
V 寄宿舍運営	57
VI スクールバス運行表	63

校章のねがい

	<p>新校章（平成 21 年度）</p> 	<p>形) 丸の中は全体の和と万物の生命源太陽でそのまわりを子どもらは喜び勇んで両手を挙げ希望へと進む。</p> <p>色) 赤は、花と緑と野鳥のすむ学校を、やまぶき色は心身全体の明るさ、白い地色はけがれを知らぬ純真さに、素直に成長する宮特の「み」の字を追加。</p> <p>デザイン：瑞慶山 隆司氏</p>
---	--	--

校 歌

作 詞： 平 良 肇
作 曲： 花 城 キ ヨ

あにけ さじわ ひのかい はけみ えはち るしが のおつ だおづ のぞく もらと りへも げまま んこけ きとな のいの まはこ ななこ ぶきろ ぼさき くかた たさえ ちんつ のとつ

5
きとあ ぼもす うにへ あてむ ふきか れとつ りて またせ なん びけし やあん にいだ

9 1, 2.
あすい かなざ るおた いなく ここま ここし ろろく こそす だだこ まてや すよか るうに

13 3.
い ざ た く ま し く す こ や か た

17
いざたくましく 健やかに
いざたくましく 健やかに
明日へ向かって 前進だ
負けない精神 鍛えつつ
三、 けわしい道が 続くとも

二、 にじのかけ橋 大空へ
真実の花を 咲かさんと
共に手を取り 助け合い
素直な心 育てよう

一、 朝日に映える 野田の森
元気に学ぶ 僕たちの
希望あふれる 学舎に
明るい心 こだまする

I 学校の沿革

1 設置学部

小学部 昭和52年4月1日設置
中学部 昭和52年4月1日設置
高等部 昭和55年4月1日設置
幼稚部 平成19年4月1日設置

2 学校沿革の概要

(1) 学校設立の方針

本校は、昭和51年8月30日に決定された沖縄県立宮古養護学校設置方針により、宮古群島内を学区とした知的障がい児教育を中心とする養護学校として設立された。

(2) 沿革の概要

昭和51年度	10月15日	県立学校の設置に関する条例を一部改正する条例により設置決定
	11月1日	初代校長:平良 肇、教諭:前川玄業 発令
昭和52年度	4月1日	教頭:花城恵喜、他19名発令 「県立那覇養護学校稲沖分校」を「県立宮古養護学校稲沖分校」に改める
	8月30日	新校舎へ移転
	10月11日	寄宿舎開設(舎生21名)
	3月23日	小学部第1回卒業式
昭和53年度	11月12日	第1回運動会(於:張水学園)
昭和54年度	6月26日	平良市第31回産業共進会より学校緑化で優秀賞を受賞
	8月7日	体育館、プール完成
	3月22日	中学部第1回卒業式
昭和55年度	4月1日	高等部設置
	4月7日	高等部第1回入学式(男7名、女4名、計11名入学)
	6月12日	高等部教室、養訓室、音楽教室、美術教室等完成
昭和56年度	4月23日	運動場完成
	6月2日	文部省指定交流教育理解推進校(平良市立西辺小学校)の協力推進校
	10月8日	本校創立5周年記念大運動会開催
	11月13日	校歌選定・・・作詞:平良 肇、作曲:花城 キヨ
	2月19日	運動場設備工事(芝生、駐車場)竣工
	3月15日	創立5周年記念式典挙行
昭和57年度	4月1日	第2代校長:兼浜朝一 発令
	8月30日	校内遊歩道竣工
	12月20日	校旗樹立式
	3月23日	屋外養護・訓練場設置(小学部教室前)
	3月24日	高等部第1回卒業式(9名卒業)
昭和58年度	9月6日	県教育委員、学校訪問(肢体不自由部設置に向けた調査)
	2月22日	体育館の緞帳付設
昭和59年度	4月1日	第3代校長:宮良用倫、他8名発令
	11月14日	沖縄県教育長、米村幸政氏の学校訪問
昭和60年度	4月1日	教頭:仲宗根恵蔵、他6名発令

	10月 9日	第8回運動会
昭和61年度	4月 1日	第4代校長:大浦一男、他10名発令
	2月 5日	創立10周年記念式典並びに祝賀会
昭和62年度	4月 1日	第5代校長:知念仁幸、他6名赴任
	12月18日	県教育委員会指定特殊教育教育課程研究校最終報告会
昭和63年度	4月 7日	入学式挙行(小学部7名、中学部2名、高等部6名、計15名)
	11月22日	農場基盤整備事業竣工式
平成元年度	4月 7日	始業式並びに入学式挙行(小学部3人、中学部4人、高等部4人)
	7月 4日	第1回養護学校体育大会参加(中・高生徒23名)
	1月18日	ランチルームで給食開始
平成2年度	4月 1日	第6代校長:小浜光次郎、教頭:平良昌行、他10名発令
	11月 9日	平成2年度沖縄県教育委員会指定グループ研究発表会
平成3年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、事務長:下里 進、他8名発令
	4月16日	平成3・4年度心身障がい児交流活動地域推進校の研究指定の委嘱
	10月 4日	プール改修工事竣工
	1月24日	文部省指定平成3・4年度心身障がい児交流活動地域推進校の中間発表会
	3月 3日	平良市民運動実施協議会より緑化美化賞受賞
平成4年度	4月 1日	教頭:普天間裕、他12名発令
	4月 7日	始業式並びに入学式(小学部2名、中学部6名、高等部5名入学)
	12月 8日	文部省指定平成3・4年度心身障がい児交流活動地域推進校の最終発表会
平成5年度	4月 1日	第7代校長:赤嶺保善、他7名発令
	4月 7日	始業式並びに入学式(小学部2名、中学部4名、高等部6名入学)
	8月23日	心身障がい児交流活動地域推進研究に対して文部省より感謝状を授与
	2月 6日	第17回学習発表会
平成6年度	4月 7日	始業式並びに入学式(中学部6名、高等部6名)
	10月 2日	第17回運動会
	2月 5日	第18回学習発表会
平成7年度	4月 7日	始業式並びに入学式(中学部5名、高等部7名入学)
	9月19日	沖縄県緑化コンクールに入選
	12月 8日	沖縄県教育委員会指定グループ研究発表会
平成8年度	4月 1日	第8代校長:親泊俊吉、教頭:大城學、他11名発令
	4月 8日	始業式並びに入学式(小学部2名、中学部4名、高等部5名入学)
	5月 1日	在籍数43名、小学部8名、中学部16名、高等部19名、職員数64名
	12月17日	学校創立20周年記念式典並びに祝賀会
平成9年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、事務長:平良敏夫、他13名発令
	4月 7日	始業式並びに入学式(中学部1名、高等部8名入学)
	5月 1日	在籍数40名、小学部8名、中学部11名、高等部21名、職員数63名
平成10年度	4月 7日	始業式並びに入学式(中学部1名、高等部8名入学)
	5月 1日	在籍数40名、小学部5名、中学部10名、高等部25名、職員数68名
	12月 4日	沖縄県指定特殊教育教育課程研究校最終発表会
	3月 4日	花と緑と野鳥の住む学園緑化コンクール優秀賞
平成11年度	4月 1日	第9代校長:具志川聰子、教頭:玉城茂、他9名発令
	4月 7日	始業式並びに入学式(小学部1名、中学部2名、高等部8名)
	5月 1日	在籍数39名、小学部4名、中学部8名、高等部27名、職員数62名

平成12年度	4月 1日	第10代校長:照屋盛順、事務長:川満忍、 他15名発令 沖縄県教育委員会より平成12・13年度障がい児職業自立推進重点校に指定
	4月10日	入学式(小学部1名、中学部0名、高等部4名)
	5月 1日	在籍数38名、小学部8名、中学部7名、高等部23名、職員数62名
	10月21日	県緑化コンクール準特選
	3月21日	卒業式(小学部24回、中学部22回、高等部19回) (小学部1名、中学部4名、高等部11名)
平成13年度	4月 1日	第11代校長:大城 學、他2名発令
	4月 9日	入学式(小学部2名、中学部2名、高等部9名)
	5月 1日	在籍数35名、小学部10名、中学部4名、高等部21名、職員数62名
	3月20日	卒業式(小学部25回3名、中学部23回2名、高等部20回7名)
	3月29日	リフト付き新スクールバス納入
平成14年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、教頭:仲村渠 修、他15名発令
	4月 9日	入学式(小学部1名、中学部4名、高等部2名)
	5月 1日	在籍数33名、小学部10名、中学部7名、高等部16名、職員数61名
	2月25日	「花と緑と野鳥の住む学園」緑化コンクール『特別賞』受賞
	3月20日	卒業式(小学部26回 中学部24回 高等部21回)
平成15年度	4月 1日	第12代校長:玉元 江美子、事務長:岡 恵子、他10名発令
	4月 8日	入学式(小学部3名、中学部2名、 高等部5名)
	5月 1日	在籍数36名、小学部13名、中学部8名、高等部15名、職員数63名
	3月23日	卒業式(小学部27回・4名、中学部25回・4名、高等部22回・8名)
平成16年度	4月 1日	定期人事異動に伴い8名発令
	4月 8日	入学式(小学部4名 中学部7名 高等部6名)
	4月14日	県教育委員会「グループ研究校」指定
	4月22日	宮古病院にて訪問学級を開設する
	5月 1日	在籍数41名、小学部15名、中学部13名、高等部13名、職員数63名
	11月20日	県緑化コンクールで特選受賞(糸満市)
	3月23日	卒業式(小学部28回・2名、中学部26回・3名、高等部23回・2名)
平成17年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、教頭:宮城拓人、事務長:長嶺喜一、他職員34名発令
	4月 7日	入学式(小学部4名 中学部5名 高等部8名(含む訪問1名))
	5月 1日	在籍数53名、小学部20名、中学部14名、高等部19名
	3月23日	卒業式(小学部第29回:3名、中学部第27回:2名、高等部24回:5名)
平成18年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、職員 教諭 12名 舎 発令
	4月 7日	入学式(小学部1名 中学部7名 高等部11名入学)
	5月 1日	在籍数61名 小学部18名 中学部18名 高等部25名
	2月23日	創立30周年記念講演「夢をあきらめないで」島袋 勉氏
	3月16日	新校舎完成を祝う会
	3月20日	卒業式(小学部第30回3名、中学部第28回6名、高等部第25回6名)
平成19年度	4月 1日	幼稚部が設置される
	4月 2日	第13代校長:東風平朝淳、 教頭:玻名城安教、他職員37名発令
	4月 9日	新校舎で赴任式並びに第1学期始業式 入学式(幼稚部3名、小学部7名、中学部5名、高等部11名、計26名)
	5月 1日	在籍数72名(幼稚部3名、小学部25名、中学部16名、高等部28名)
	5月26日	創立30周年記念式典・新校舎落成記念式典

平成20年度	3月21日	卒業式(幼稚部1回修了式 小学部31回 中学部29回 高等部26回)
	4月 1日	第14代校長:大城徹彦、他職員34名発令
	4月 7日	入学式(幼稚部2名 小学部3名 中学部4名 高等部12名、計21名)
	5月 1日	在籍数75名(幼稚部3名, 小学部25名, 中学部15名, 高等部32名)
平成21年度	2月20日	沖縄県教育委員会指定「教育課程」最終成果報告会・公開授業
	3月23日	卒業式(幼稚部2回修了式 小学部32回 中学部30回 高等部27回)
	4月 1日	学校名の変更「宮古養護学校」から「宮古特別支援学校」 定期人事異動に伴い、教頭:喜久山強、事務長:長嶺真勝、他職員31名発令
	4月 7日	入学式(幼稚部2名 小学部3名 中学部5名 高等部13名、計23名) 寄宿舍入舎式(中学部8名 高等部15名、計23名)
平成22年度	5月 1日	在籍数77名(幼稚部2名, 小学部24名, 中学部15名, 高等部36名)
	3月23日	卒業式(幼稚部第3回修了式 小学部第33回 中学部第31回 高等部第28回)
	4月 1日	第15代校長:伊波 満、他職員29名発令
	4月 7日	入学式 幼稚部第4回 小学部第34回 高等部第29回 (幼稚部1名、小学部2名(訪問1名) 中学部6名、高等部10名、計19名)
平成23年度	5月 1日	在籍数75名(幼稚部1名、小学部21名、中学部16名、高等部37名)
	3月23日	卒業式(幼稚部第4回修了式、小学部第34回、中学部第32回、高等部第29回)
	3月24日	修了式 離任式
	4月 1日	定期人事異動に伴い、事務長:松田 哲、他職員25名発令
平成24年度	4月 7日	入学式 幼稚部第5回 小学部第35回 高等部第30回 (幼稚部2名、小学部2名(転入生3年生1名)、中学部5名、高等部8名)
	4月26日	開校記念日(35周年)
	5月 1日	在籍数71名(幼稚部2名, 小学部21名, 中学部16名, 高等部32名)
	3月23日	卒業式(小学部第35回 中学部第33回 高等部第30回)(幼稚部第5回修了式)
平成25年度	3月24日	平成23年度 修了式 離任式
	4月 2日	第16代校長:平良智枝子、他職員22名発令
	4月 9日	入学式 幼稚部第6回 小学部第36回 中学部第34回 高等部第31回 (幼稚部1名 小学部2名 中学部3名 高等部11名、計17名)
	4月26日	開校記念日(36周年)
平成26年度	5月 1日	在籍数66名(幼稚部1名, 小学部21名, 中学部14名, 高等部30名)
	3月21日	卒業式 小学部第36回 中学部第34回 高等部第31回
	3月22日	修了式 離任式
	4月 1日	スクールバス・給食・舎食が民間委託
平成27年度	4月 8日	入学式 幼稚部第7回 小学部第37回 中学部第35回 高等部第32回
	3月20日	幼稚部第7回修了式 卒業式:小学部第37回・中学部第35回・高等部第32回
	3月24日	修了式・離任式
	4月 1日	第17代校長:喜久山強、教頭:比嘉徹、事務長:島尻光恵、他職員26名発令
平成28年度	4月 7日	入学式 幼稚部第8回 小学部第38回 中学部第36回 高等部第33回
	4月26日	開校記念日(38周年)
	5月 1日	在籍数68名(幼稚部2名, 小学部18名, 中学部19名, 高等部29名)
	3月19日	幼稚部第8回修了式(2名)
平成29年度	3月23日	卒業式:小学部第38回、中学部第36回、高等部第33回
	3月24日	修了式・離任式

平成27年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、職員25名発令
	4月 7日	入学式 幼稚部第9回 小学部第39回 中学部第37回 高等部第34回
	4月26日	開校記念日(39周年)
	5月 1日	在籍数66名(幼稚部1名、小学部18名、中学部21名、高等部26名)
	10月29日	第54回全日本歯科保健優良校表彰(優秀賞)
	3月18日	幼稚部第9回修了式(1名)
	3月23日	卒業式：小学部第39回、中学部第37回、高等部第34回、高等部卒業を祝う会
	3月24日	修了式・離任式
平成28年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、教頭：與儀達子、事務長：西里馨、他職員28名発令
	4月 7日	入学式 幼稚部第10回 小学部第40回 中学部第38回 高等部第35回 寄宿舎入舎式(小学部1名 中学部5名 高等部11名、計17名)
	4月26日	開校記念日(40周年)
	5月 1日	在籍数69名(幼稚部4名、小学部16名、中学部16名、高等部33名)
	11月12日	創立40周年記念式典・祝賀会
	3月17日	幼稚部第10回修了式(4名)
	3月23日	卒業式：小学部第40回、中学部第38回、高等部第35回、高等部卒業を祝う会
	3月24日	修了式・離任式
平成29年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、第18代校長：佐和田聡、他職員26名発令
	4月 7日	入学式 小学部第41回 中学部第39回 高等部第36回 寄宿舎入舎式(小学部1名、中学部2名、高等部15名 計18名)
	4月26日	開校記念日(41周年)
	5月 1日	在籍数68名(小学部20名、中学部12名、高等部36名)
	3月16日	第36回高等部卒業式(男子10名、女子1名、計11名)
	3月22日	卒業式：小学部第41回・中学部第39回
平成30年度	4月 1日	定期人事異動に伴い、教頭：内間秀樹、他職員31名発令
	4月10日	入学式 小学部第42回 中学部第40回 高等部第37回 (小学部3名、中学部5名、高等部12名 計20名) 寄宿舎入舎式(小学部1名、中学部5名、高等部14名 計20名)
	4月11日	県教育委員会「グループ研究校」指定
	4月26日	開校記念日(42周年)
	5月 1日	在籍数68名(小学部21名、中学部11名、高等部36名)
	2月 8日	県教育委員会指定「グループ研究」最終報告
	3月15日	第37回高等部卒業式(男子8名、女子4名、計12名)、卒業生を祝う会
	3月20日	卒業式：小学部第42回(2名)・中学部第40回(4名)
	3月22日	修了式・離任式
	平成31年度	4月 1日 定期人事異動に伴い、教頭：仲本一郎、事務長：下地洋光、他職員35名発令
	(令和元年度)	4月 9日 入学式 小学部第43回 中学部第41回 高等部第38回 (小学部2名、中学部3名、高等部11名 計16名) 寄宿舎入舎式(小学部1名、中学部6名、高等部10名 計17名)
	4月10日	県教育委員会「グループ研究校」指定
	4月26日	開校記念日(43周年)
	5月 1日	新元号(令和)の施行 在籍数66名(小学部21名、中学部10名、高等部35名)
	1月31日	県教育委員会指定「グループ研究」中間報告 研究主題：観点を明確にした評価の工夫 ～評価の手引きの作成と活用を通して～

令和2年度	3月13日	第38回高等部卒業式（男子8名、女子4名、計12名）
	3月19日	卒業式：小学部第43回（4名）・中学部第41回（3名）
	4月 1日	定期人事異動に伴い、校長：西永浩士、他職員37名発令
	4月26日	開校記念日（44周年）
	5月 1日	在籍数68名（幼稚部1名、小学部22名、中学部16名、高等部32名）
	5月22日	入学式：幼稚部第11回 小学部第44回 中学部第42回 高等部第39回 （幼稚部1名、小学部3名、中学部8名、高等部9名 計21名）
		寄宿舎入舎式（小学部1名、中学部6名、高等部10名 計17名）
	8月29日	第1学期終業式（新型コロナウイルス感染症に伴う一斉臨時休業影響）
	9月 3日	第2学期始業式
	12月18日	県教育委員会指定「グループ研究」最終報告
	1月23日	第31回学習発表会
	3月12日	第39回高等部卒業式（11名）
令和3年度	3月19日	卒業式：小学部第44回（4名）・中学部第42回（5名）
	4月 1日	定期人事異動に伴い、教頭：島袋聡、他職員34名発令
	4月 7日	第1学期 始業式
	4月 8日	入学式：幼稚部第12回 小学部第45回 中学部第43回 高等部第40回 （幼稚部2名、小学部6名、中学部4名、高等部9名 計21名）
		寄宿舎入舎式（小学部2名、中学部6名、高等部13名 計21名）
	4月26日	開校記念日（45周年）
	5月 1日	在籍数75名（幼稚部2名、小学部28名、中学部15名、高等部30名）
	6月 7日	新型コロナウイルス感染症等防止に伴う臨時休業（～20日） 幼稚部、小学部、中学部、高等部
	7月20日	第1学期 終業式
	9月 1日	第2学期 始業式、人事異動発令に伴い、教頭 比嘉展寿
	10月 2日	第39回運動会
	12月24日	第2学期 終業式
令和4年度	1月 6日	第3学期 始業式
	2月16日	旧十六日祭（11：40下校）
	3月16日	第40回高等部卒業式（11名）
	3月18日	第13回幼稚部（2名）卒園式 第45回小学部（3名）第43回中学部（3名）卒業式
	4月 1日	定期人事異動に伴い、 校長：下地靖子、事務長：森東俊志、他職員34名発令
	4月 7日	第1学期 始業式
	4月11日	入学式：幼稚部第13回 小学部第46回 中学部第44回 高等部第41回 （幼稚部3名、小学部8名、中学部5名、高等部8名 計24名）
		寄宿舎入舎式（小学部1名、中学部6名、高等部11名 計18名）
	4月26日	開校記念日（46周年）
	5月 1日	在籍数82名（幼稚部3名、小学部36名、中学部16名、高等部27名 計82名）
	7月20日	第1学期 終業式
	9月 1日	第2学期 始業式
	11月24日	中高特別支援学校体育大会参加（中3、高3、学年代表）
	12月 6日	高等部修学旅行（千葉、東京）3泊4日

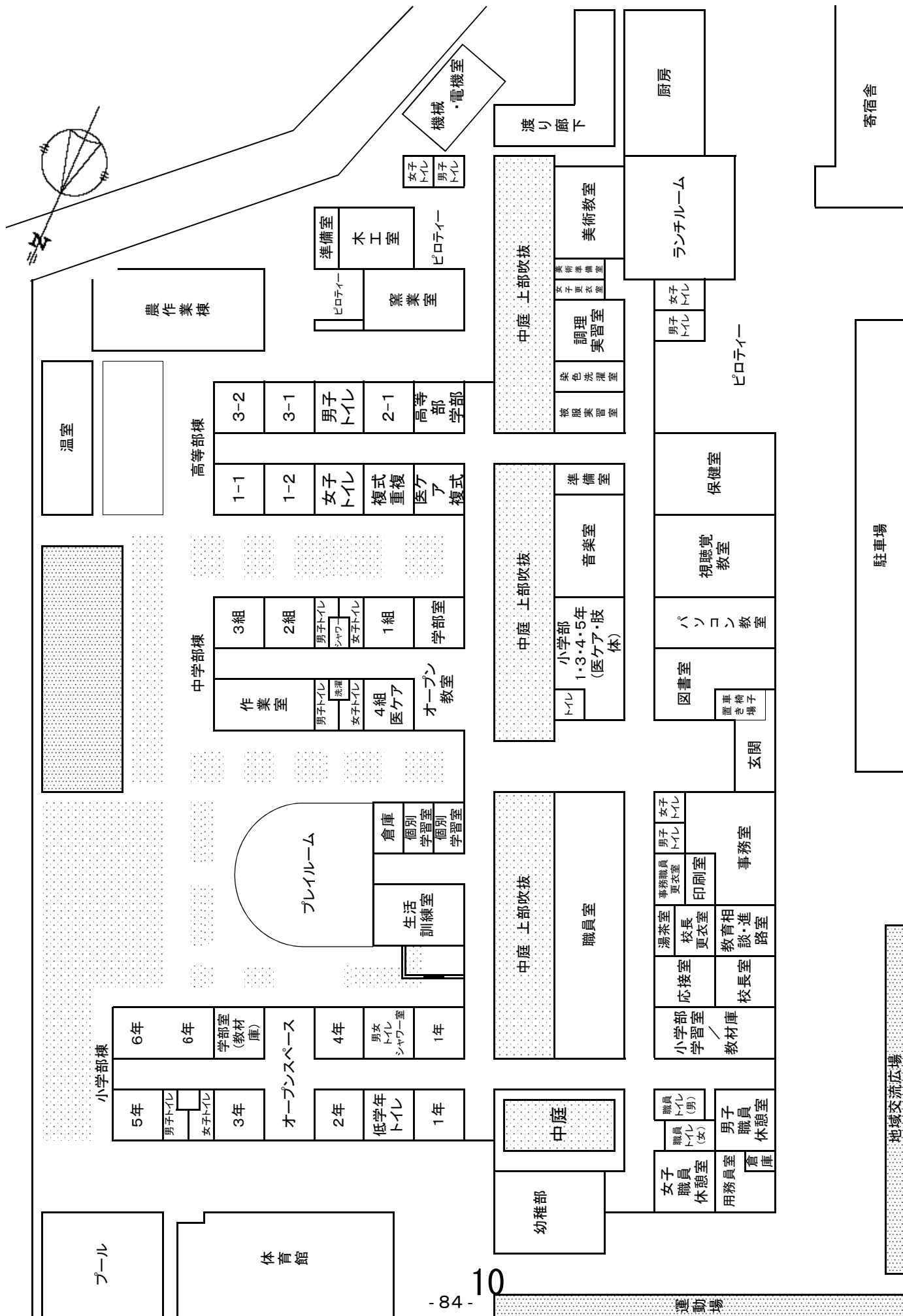
令和5年度	12月23日	第2学期終業式
	1月 6日	第3学期始業式
	1月28日	学習発表会
	3月15日	第41回高等部卒業式（9名）
	3月17日	第14回幼稚部（2名） 第46回小学部（8名）第44回中学部（8名）卒業式
	4月 3日	定期人事異動に伴い、職員35名発令
	4月 7日	第1学期 始業式
	4月10日	入学式：幼稚部14回 小学部第47回 中学部第45回 高等部第42回 （幼稚部4名、小学部9名、中学部9名、高等部12名 計34名）
	4月26日	開校記念日（47周年）
	5月 1日	在籍数（幼稚部4名、小学部40名、中学部17名、高等部28名 計89名）
	7月20日	第1学期 終業式
	9月 1日	第2学期 始業式
	10月 7日	第40回運動会
	11月22日	中高特別支援学校体育大会参加（中3、高3、学年代表）
	12月25日	第2学期終業式
	1月 9日	第3学期始業式
	1月26日	販売学習（中高）
	3月13日	第42回高等部卒業式（9名）
令和6年度	3月17日	第15回幼稚部（4名） 第47回小学部（4名）第45回中学部（3名）卒業式
	4月 1日	定期人事異動に伴い 校長：濱元伸、教頭：前川考治、事務長：伊禮弘光、他職員24名発令
	4月 8日	第1学期 始業式
	4月 9日	入学式：幼稚部15回 小学部第48回 中学部第46回 高等部第43回 （幼稚部5名、小学部6名、中学部4名、高等部7名 計22名）
	4月26日	開校記念日（48年目）
	5月 1日	在籍数（幼稚部5名、小学部42名、中学部18名、高等部25名 計90名）
	7月19日	第1学期 終業式
	9月 2日	第2学期 始業式
	10月20日	中：修学旅行（大阪、～22日）
	11月17日	修学旅行3泊4日（東京・千葉）ディズニーランド
	11月25日	小5・6年：修学旅行（沖縄本島、～26日）
	11月29日	第36回沖縄県特別支援学校体育大会（コザ運動公園）
	12月25日	2学期終業式
	1月 7日	3学期始業式
	2月 1日	学習発表会
	3月12日	第43回高等部卒業式（6名）
	4月14日	第48回小学部（3名）第46回中学部（5名）卒業式
令和7年度	4月 1日	定期人事異動に伴い職員34名発令
	4月 7日	第1学期 始業式
	4月 8日	入学式：幼稚部16回 小学部第49回 中学部第47回 高等部第44回 （幼稚部2名、小学部8名、中学部4名、高等部10名 計24名）
	4月25日	開校記念日（49周年）

5月 1日 在籍数（幼稚部2名、小学部47名、中学部19名、高等部28名 計96名）

	校長	教頭	事務長	PTA会長
第1代 S51	平良肇	花城恵喜	久貝清栄	第1代 石垣義夫
S53	〃	〃	〃	〃
S54	〃	〃	〃	〃
S55	〃	大浦一男	〃	第2代 与那覇清
S56	〃	〃	〃	〃
第2代 S57	兼浜朝一	〃	〃	〃
S58	〃	〃	〃	〃
第3代 S59	宮良用倫	前川玄業	島尻忠一	〃
S60	〃	仲宗根恵蔵	〃	〃
第4代 S61	大浦一男	〃	〃	第3代 国仲一男
第5代 S62	知念仁幸	〃	砂川寛雄	〃
S63	〃	八田不二夫	〃	〃
H1	〃	〃	〃	〃
第6代 H2	小浜光次朗	平良昌行	野原テル子	第4代 砂川恵規
H3	〃	〃	下地進	〃
H4	〃	普天間裕	仲宗根村子	第5代 仲里敏夫
第7代 H5	赤嶺保善	〃	下里進	〃
H6	〃	〃	〃	第6代 安田茂
H7	〃	〃	〃	〃
第8代 H8	親泊俊吉	大城學	〃	〃
H9	〃	〃	平良敏夫	〃
H10	〃	〃	〃	〃
第9代 H11	眞志川聡子	玉城茂	〃	第7代 永本安子
第10代 H12	照屋盛順	〃	川満忍	第8代 砂川俊英
第11代 H13	大城學	〃	〃	〃
H14	〃	仲村渠修	前田島正介	第9代 平良耕一
第12代 H15	玉元江美子	〃	岡恵子	〃

	校長	教頭	事務長	PTA会長
H16	玉元江美子	仲村渠修	岡恵子	第10代 花城旭三
H17	〃	宮城拓人	長嶺喜一	〃
H18	〃	〃	〃	第11代 与那覇敏一
第13代 H19	東風平朝淳	玻名城安教	〃	〃
第14代 H20	大城徹彦	〃	〃	第12代 奥平清健
H21	〃	喜久山強	長嶺真勝	第13代 井上文人
第15代 H22	伊波満	〃	〃	〃
H23	〃	〃	松田哲	第14代 川平陽一
第16代 H24	平良智枝子	田港規剛	〃	第15代 平良大雄
H25	〃	〃	〃	〃
第17代 H26	喜久山強	比嘉徹	島尻光恵	第16代 沼田弘信
H27	〃	〃	〃	〃
H28	〃	與儀達子	西里馨	〃
第18代 H29	佐和田聡	〃	〃	第17代 池間正夫
H30	〃	内間秀樹	〃	第18代 沼田弘信
H31 (R1)	〃	仲本一郎	下地洋光	第19代 眞壁靖人
第19代 R2	西永浩士	〃	〃	第20代 砂川昌也
R3	〃	島袋聡 比嘉展寿	森東俊志	第21代 山原茂人
第20代 R4	下地靖子	比嘉展寿	〃	第22代 石嶺夕力工
R5	〃	〃	〃	〃
第21代 R6	濱元伸	前川考治	伊禮弘光	〃
R7	〃	〃	〃	第23代 下里善盛
R8				
R9				
R10				
R11				

校舎配置及び施設現況



学校教育の基本構想

1 本県の目指す教育の姿

(1) 基本的な考え方

個性の尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を図る。

(2) 教育の目標

自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する。

平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土の文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。

学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図る。

※沖縄県教育振興基本計画より(令和4年度～13年度)

2 学校の教育目標(スクールミッション)

○自立と社会参加の実現に必要な知識技能及び態度や意欲の育成

○明るく、素直でたくましく、主体的に活動できる幼児児童生徒の育成

－ 校訓 「元気・笑顔・自立」 －

(1) 《めざす幼児児童生徒像》

- ① 健康で明るく、たくましい幼児児童生徒
- ② 自分のことは自分でする幼児児童生徒
- ③ 心豊かで思いやりのある幼児児童生徒
- ④ よく考え自ら学び行動する幼児児童生徒
- ⑤ 夢や希望に向かってがんばる幼児児童生徒

(2) 《具体的目標》

- ① 健康で明るい生活をするための体力をつくり、健康で安全な生活態度を育てる。
- ② 自己肯定感や自己有用感等を高め「自分のことは、自分でする」という意識や意欲を高める。
- ③ みんなと仲良く協力し合い、社会生活に必要な能力や態度を培う。
- ④ 学ぶこと、働くことを喜び、学ぶ意欲や最後まで頑張る態度を育てる。
- ⑤ 「よりよい生活」の実現に向けて主体的に行動できる基本的な態度を育てる。

3 学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 幼児児童生徒一人一人の障害の状態や特性等に応じた指導の充実を図る。
- (2) 自立と社会参加を推進するため、基本的生活習慣の確立、教育相談、キャリア教育を推進する。
- (3) 健康教育、安全教育の充実と医療的ケアに関する保護者・医療等との連携を推進する。
- (4) 交流及び共同学習を推進し、地域のセンター校としての機能向上と広報の充実を図る。

4 本年度の重点目標と具体的な実践計画

- (1) 活動における目的(目標)意識を高め、主体的な活動を重視した指導の充実を図る。
 - ・個別の教育支援計画等を保護者と共有し、可能な限り幼児児童生徒との共有も推進する。
 - ・授業の導入における「めあて」を明示し、それをふまえた授業の展開を推進する。
 - ・活動における「振り返り」の時間確保を行い、系統的・発展的な学習を推進する。
 - ・ICT機器等の活用により興味関心の幅を広げ、教育効果を高める取組を推進する。
 - ・多様な活動に触れる機会を保障し、生涯学習への意欲を高める指導の充実を図る。
- (2) 幼児児童生徒一人一人の特性等に配慮し、生活の質を高めるための自立活動の充実を図る。
 - ・流れ図を活用し、中心課題に基づいた個別の指導計画の作成と活用を推進する。
 - ・生活行動や学習における、基礎基本の定着に向けてより効果的な実践の工夫改善を図る。
 - ・個別の指導に必要な環境の設定や教材作成の情報共有など実践の蓄積を推進する。
 - ・センター的機能を視野に入れた自立活動の充実と指導体制のさらなる強化を図る。

- (3) 幼児児童生徒の安心安全な教育環境に関する体制を構築する。
 - ・医療的ケアをはじめとする幼児児童生徒の安心できる学習環境を整える。
 - ・施設、設備の有効活用を図るとともに幼児児童生徒の安全管理を徹底する。
 - ・不審者対策、台風、火災、地震・津波災害対策、救急救命等の危機管理の強化を図る。
 - ・花と緑いっぱいの潤いのある教育環境づくりと環境教育整備を推進する。
- (4) 一人一人の将来を長期的・短期的に展望するキャリア教育の推進。
 - ・学部間連携等による一貫性のあるキャリア教育の推進を図る。
 - ・個別の教育支援計画や個別移行支援計画の活用と関係機関と連携した進路指導の充実を図る。
 - ・自己肯定感、本人の願いや思いに着目したキャリア発達支援の取組を推進する。
 - ・校内及び校外における就業体験等の工夫改善を通し、主体的な進路選択・決定を図る。
- (5) 開かれた学校づくりの観点から、社会や地域とつながりを視野に入れた教育活動を展開する。
 - ・体験入学や体験研修、授業参観、教育相談、公開研修会等により本校教育の理解推進を図る。
 - ・宮古圏域における特別支援教育のセンター的機能を担うための体制づくりを推進する。
 - ・学校運営改善のための学校評価の実施と積極的な情報公開を推進する。
 - ・学校間交流、居住地校交流、地域の教育資源活用等で地域社会に関わる機会の充実を図る。
 - ・地域の事業所等との連携による「かおりものプロジェクト」を推進する。
- (6) 寄宿舎における指導の充実を図る。
 - ・卒業後のより豊かで充実した生活の実現を視野に入れた生活指導の充実を図る。
 - ・舎生による自治的な活動を通して、主体的・自律的な生活行動の定着を図る。
 - ・家庭や各学部、福祉サービス事業者等との情報共有・連携を推進する。
- (7) 特別支援教育に関する専門性のさらなる向上を図る。
 - ・観点別評価と連動した授業改善の研究を深め、評価理論と実践の一体化を図る。
 - ・特別支援学校教諭免許状の取得、各種研修への積極的な参加等による資質向上を推進する。
 - ・県外講師招聘、授業研究会、班別研修等の校内研修の充実を図る。

5 教育課程編成の基本方針

教育課程の編成にあたっては、関係法令や新学習指導要領及び本県の教育主要施策、教育課程編成要領、特別支援学校教育課程編成に係る事項の取り扱い（通知）を踏まえて、学校教育目標を達成するために、幼児児童生徒の心身の発達、障害の状態、特性等、本人や保護者の願い、学校の実態を十分に考慮して、次の事項を踏まえて編成する。

- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じて活動しやすい環境が整えられるよう、合理的配慮に努めるとともに、基礎的・基本的な内容を精選し、幼小中高一貫した教育課程を編成する。
- (2) 「育てたい資質・能力」の明確化を図るとともに、幼児児童生徒の「主体的に生きる力」を育成する視点で編成する。
- (3) 幼児児童生徒の障害の状態や特性等に応じて、各教科、道徳科、外国語活動、特別活動、自立活動及び総合的な学習（中学部）・探究（高等部）の時間で編成をする。
- (4) 5障害種（視覚・聴覚・的・肢体不自由・病弱）に対応するための、個に応じた計画的、弾力的な編成・運用ができるようにする。
- (5) 障害の状態に応じて特に必要な場合には、重複障害者等に関する教育課程の取扱いの規定をふまえて弾力的に編成する。
- (6) 行事等については、各教科等との密接的な関連をふまえて計画し、教育の効果を高めるとともに幼児児童生徒の負担加重にならないよう工夫改善を行いながら実施する。
- (7) 学校内外での生活体験や自然体験、地域の教育資源を活用した活動、各種発表会等への参加等について計画的に実施し、体験を通した学びを重視した内容の充実を図る。
- (8) 訪問教育は、主治医の指示のもと（保護者の了解を得て）児童生徒の体調に合わせた授業に取り組む。授業時数については弾力的に扱うものとする。（小中学部週6時間、高等部週8時間を標準とする）

Ⅲ 教育課程

1 幼稚部の教育課程

【育てたい資質・能力】 身近な環境に自ら関わり、遊び込む力

(1) 幼稚部の教育目標

- ① 元気な子
- ② 自分でしようとする子
- ③ やさしい子
- ④ あそべる子
- ⑤ がんばる子

(2) 教育課程の編成方針

幼稚部教育要領及び本校教育課程編成の基本方針を踏まえ、幼児期の生活や幼児の発達の特性及び障害の状態やその特性等を十分に把握し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮しながら、次の点に留意して教育課程を編成する。

- ① 「個別の指導計画」を作成し、幼児の障害の状態及び特性に応じた指導体制の充実が図られるように編成する。
- ② 幼児の興味・関心や欲求に応じて、物的・空間的環境の創意工夫を図り、幼児自ら進んで活動できるように編成する。
- ③ 遊びを通しての指導を中心とし、健康、人間関係、環境、言葉、表現及び自立活動のねらいが総合的に達成できるように編成する。
- ④ 他学部との交流学习を通して、望ましい対人関係の形成及び生活経験の拡大が図れるように編成する。
- ⑤ 家庭やその他関係機関との連携を密にし、保護者の保育参加の下で、個に応じた指導の充実が図られるように編成する。
- ⑥ 基礎的・基本的事項の指導を重視し、個々の幼児の実態を踏まえ、自ら活動しようとする意欲や資質・能力を育てるように編成する。

(3) 各領域の指導の重点

① 健康

- ア 身近な遊具や用具を使った遊びや戸外遊び、集団的な遊び等を通して、体を動かすことを楽しめるようにする。
- イ 生活の流れの中で衣服の着脱や食事、排泄など生活に必要な活動への意欲や技能を高め、自分でできることを増やす。

② 人間関係

- ア 身近な人との関わりの中で、愛情や信頼感を養う。
- イ 身近な人と共に過ごすことの喜びを味わわせ、人とかかわって遊べるようにする。
- ウ 身近な人との関わりの中で、簡単なきまりを守ることができるようにする。

③ 環境

- ア 身近な事象や具体物、動植物等に十分に触れ合い親しむ中で、直接的な体験を通して身近な環境に興味や関心をもたせる。
- イ 身近な環境に自ら関わろうとする意欲を育てながら、好ましいかかわり方に気付か

せる。

ウ 生活や遊びの中で、身の回りのものの性質や色、形、数、量等に興味を持たせ、違いに気付かせる。

④ 言葉

ア 身近な人からの語りかけや歌いかけに親しみ、音声の響きやリズムなど言葉の楽しさに気付かせる。

イ 自分の気持ちを言葉や身体で表現できるようにする。

ウ 生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しみ、日常生活に必要なあいさつや返事などの簡単な言葉が言えるようにする。

エ 絵本や物語に親しみ、言葉への感覚が養われるようにする。

⑤ 表現

ア 生活の中で、いろいろな音、色、形、感触、動き等に気付いたり、楽しんだりすることができるようにする。

イ 音楽に親しみ、聞いたり、歌ったり、身体を動かしたり、簡単な楽器を鳴らしたりして楽しむことができるようにする。

ウ いろいろな素材や用具を使って、かいたり、つくったりして楽しむことができるようにする。

⑥ 自立活動

ア 上記の5領域と関連させながら、生活の中で遊びを中心とした指導を通して、心身の調和的発達の基盤を培う。

イ 自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な態度及び習慣を養う。

様式1 幼稚園部
教育日数、教育時数及び教育週数表

年齢	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	教育日数	16	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	7	191
	教育時数	55	80	79	56	0	75	84	63	76	72	72	25	737
	教育週数						42	週（年間の教育週数）						
4	教育日数	16	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	7	191
	教育時数	55	80	79	56	0	75	84	63	76	72	72	25	737
	教育週数						42	週（年間の教育週数）						
5	教育日数	16	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	7	191
	教育時数	55	80	79	56	0	75	84	63	76	72	72	25	737
	教育週数						42	週（年間の教育週数）						
備考														

様式8 幼稚園部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名	時間配当			備考
			事項	3歳	4歳	5歳	
一学期	4月8日	火	入学式	1	1	1	
	6月24日	火	火災避難訓練	1	1	1	
	小計			2	2	2	
学期	月日	曜日	行事名	時間配当			備考
			事項	3歳	4歳	5歳	
	9月22日	月	火災避難訓練	1	1	1	
	10月11日	日	運動会	4	4	4	
	11月5日	水	地震・津波避難訓練	1	1	1	
	小計			6	6	6	
学期	月日	曜日	行事名	時間配当			備考
			事項	3歳	4歳	5歳	
	3月10日	火	幼稚部修了式	1	1	1	
	小計			1	1	1	
合計				9	9	9	

2 小学部の教育課程

【育てたい資質・能力】経験を通して、気付き一緒に取り組もうとする力

(1) 小学部の教育目標

- ① 元気であかるい児童
- ② 自分のことは自分でする児童
- ③ 思いやりのある児童
- ④ よく考える児童
- ⑤ 最後までがんばる児童

(2) 教育課程の編成方針

- ① 本校教育課程基本方針に基づき、児童の実態に即して教育内容を精選し、編成する。
- ② 「個別の指導計画」を作成し、児童の障害の特性及び発達段階に応じた指導内容・方法で行えるよう弾力的に編成する。
- ③ 児童の障害の状態や特性及び心身の発達の段階並びに学習の進度等を考慮して、基礎的・基本的事項に重点をおいて資質・能力を育成できるよう編成する。
- ④ 児童の病気や障害の特性を踏まえ、情報教育機器の活用や学年、学級の枠にとらわれない学習グループの編成を行う。
- ⑤ 豊かな人間性や社会性を育成するために、交流及び共同学習や体験学習を教育課程に位置づけて編成する。
- ⑥ 学部間の連携をとり、幼小中高一貫した教育が図れるように編成する。
- ⑦ 医療的ケアを要する児童は保護者と連携し健康状態を考慮して、学習活動が負担過重にならないよう編成する。

(3) 各教科、各領域の指導の重点

【視覚障害教育、聴覚障害教育、肢体不自由教育、病弱教育】

① 各教科

ア 国語

- ・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。（知識及び技能）
- ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

イ 社会

- ・地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地

域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。（学びに向かう力、人間性等）

ウ 算数

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

エ 理科

- ・自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

オ 生活

- ・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

カ 音楽

- ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。（学びに向かう力、人間性等）

キ 図画工作

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。（知識及び技能）
- ・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることがで

きるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

- ・つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。（学びに向かう力、人間性等）

ク 家庭

- ・家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

ケ 体育

- ・その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

② 道徳科（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

※なお、指導については以下の点に留意する

- ・児童の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
- ・各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動との関連を密にしながら、経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができるようにする。

③ 外国語活動

- ・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。（知識及び技能）
- ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

④ 総合的な学習の時間

- ・探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に

- 関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。（知識及び技能）
- ・実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
 - ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

⑤ 特別活動

- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

⑥ 自立活動（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・個々の児童が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

※なお、指導内容の設定については以下の点に留意する。

- ・「自立」とは、児童がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすることを意味している事に留意し、実態に応じた具体的な指導内容を設定する。
- ・学習指導要領に示す自立活動の内容の六区分 27 項目の中から個々の児童に必要なとされる項目を選定し、それらを相互に関連付けて具体的な指導内容を設定する。

【知的障害教育】

① 各教科

ア 生活

- ・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

イ 国語

- ・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。（知識及び技能）
- ・日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能

力の向上を図る態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

ウ 算数

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

エ 音楽

- ・曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。（学びに向かう力、人間性等）

オ 図画工作

- ・形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができるようにする。（知識及び技能）
- ・造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。（学びに向かう力、人間性等）

カ 体 育

- ・遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

② 道徳科（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
※なお、指導については以下の点に留意する
- ・児童の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
- ・各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動との関連を密に

しながら、経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができるようにする。

- ・知的障害のある児童の指導に当たっては、個々の児童の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じて、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化し、体験的な活動を取り入れる。

③ 外国語活動

- ・外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。（知識及び技能）
- ・身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高めようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

④ 特別活動

- ・様々な集団活動を行う上で必要となることについて知り、行動の仕方を身に付けようとする。（知識及び技能）
- ・集団や自己の生活、人間関係の課題に気付き、解決するために話し合おうとする姿勢を育むことができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
- ・集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよくしようとする。（学びに向かう力、人間性等）

⑤ 自立活動（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・個々の児童が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

※なお、指導内容の設定については以下の点に留意する。

- ・「自立」とは、児童がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすることを意味している事に留意し、実態に応じた具体的な指導内容を設定する。
- ・学習指導要領に示す自立活動の内容の六区分 27 項目の中から個々の児童に必要とされる項目を選定し、それらを相互に関連付けて具体的な指導内容を設定する。

様式2 小学部

① 授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	14	198
2年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	14	199
3年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	14	199
4年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	14	199
5年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	14	199
6年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	10	195
備考													

② 訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	10	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	8	113
2年	11	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	8	114
3年	11	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	8	114
4年	11	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	8	114
5年	11	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	8	114
6年	11	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	6	112
備考	授業日数は週3日、授業時数は週6時間を標準とする。												

様式3 小学部（Ⅱ-A）課程

② 標準授業時数表

Ⅱ-A課程（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

教科等		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	生活	374	11	350	10	315	9	315	9	350	10	350	10	
	国語	102	3	105	3	105	3	140	4	140	4	140	4	
	算数	34	1	70	2	105	3	105	3	105	3	105	3	
	音楽	34	1	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	図画工作	34	1	35	1	70	2	70	2	70	2	70	2	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
計		646	19	700	20	735	21	770	22	805	23	805	23	
道徳科		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
外国語活動						35	1	35	1	35	1	35	1	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		136	4	140	4	140	4	140	4	105	3	105	3	
計		204	6	210	6	245	7	245	7	210	6	210	6	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式3 小学部（訪問Ⅱ-A）課程

② 標準授業時数表

訪問教育Ⅱ-A課程（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	備考
各教科	生活	20	20	20	18	18	18	
	国語	16	16	11	13	14	14	
	算数	8	8	8	8	9	9	
	音楽	3	3	3	3	3	3	
	図画工作	3	3	3	3	2	2	
	体育	5	5	5	5	4	4	保健を含む
計		55	55	50	50	50	50	
道徳科		5	5	5	5	5	5	
外国語活動				5	5	5	5	
特別活動		10	10	10	10	10	10	
自立活動		140	140	140	140	140	140	
計		155	155	160	160	160	160	
合計		210	210	210	210	210	210	

様式3 小学部（Ⅱ-B）課程

② 標準授業時数表

Ⅱ-B課程（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

教科等		1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	生活	204	6	210	6	245	7	245	7	245	7	245	7	
	国語	34	1	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	算数	34	1	35	1	35	1	70	2	70	2	70	2	
	音楽	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	図画工作	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	体育	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	保健を含む
計		374	11	420	12	455	13	490	14	490	14	490	14	
道徳科		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
外国語活動						35	1	35	1	35	1	35	1	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		408	12	420	12	420	12	420	12	420	12	420	12	
計		476	14	490	14	525	15	525	15	525	15	525	15	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

様式3 小学部（訪問Ⅱ-B）課程

② 標準授業時数表

訪問教育Ⅱ-B課程（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科	生活	20	20	20	18	18	18	
	国語	16	16	11	13	14	14	
	算数	8	8	8	8	9	9	
	音楽	3	3	3	3	3	3	
	図画工作	3	3	3	3	2	2	
	体育	5	5	5	5	4	4	保健を含む
計		55	55	50	50	50	50	
道徳科		5	5	5	5	5	5	
外国語活動				5	5	5	5	
特別活動		10	10	10	10	10	10	
自立活動		140	140	140	140	140	140	
計		155	155	160	160	160	160	
合計		210	210	210	210	210	210	

様式8 小学部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
一学期	4月7日	月	儀式的	1学期始業式		1	1	1	1	1	
	4月8日	火	儀式的	入学式	1	1	1	1	1	1	
	6月24日	火	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	小計				2	3	3	3	3	3	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	9月22日	月	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	10月5日	日	健康安全・体育的	運動会	4	4	4	4	4	4	
	11月5日	水	健康安全・体育的	地震・津波避難訓練	1	1	1	1	1	1	
	11月17日・18日	月・火	旅行・集団宿泊的	宿泊学習				12	12		
	小計				6	6	6	18	18	6	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当						備考
			種類	事項	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	3月10日	火	儀式的	幼稚部修了式	1	1	1				
	3月13日	金	儀式的	卒業式				1	1	1	
	3月19日	木	儀式的	修了式・離任式	1	1	1	1	1		
	小計				2	2	2	2	2	1	
合計					10	11	11	23	23	10	

様式9 小学部
その他特別活動の計画

1 小学部様式
児童会活動、クラブ活動（小学部のみ）年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当						備考
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
児童会活動	1学期	2	お友だちを迎える会(1) 児童生徒総会(1)	2	2	2	2	2	2	5月2日(金) 5月22日(木)
	2学期	0		0	0	0	0	0	0	
	3学期	2	児童会役員選挙(1) お友だちを送る会(1)	2	2	2	2	2	2	2月20日(金) 3月6日(金)
	小計	4		4	4	4	4	4	4	
クラブ活動	1学期	0		0	0	0	0	0	0	
	2学期	0		0	0	0	0	0	0	
	3学期	0		0	0	0	0	0	0	
	小計	0		0	0	0	0	0	0	
合計				4	4	4	4	4	4	

3 中学部の教育課程

【育てたい資質・能力】学習したことや思ったことを、考えて伝えることができる力

(1) 中学部の教育目標

- ① 生活を整えようと努力できる生徒
- ② 意欲を持って行動できる生徒
- ③ 思いやりを持ち協力できる生徒
- ④ 自分のやりたいことに挑戦できる生徒
- ⑤ 自分の目標に向かって粘り強く努力する生徒

(2) 教育課程の編成方針

個人に必要な「合理的配慮」が提供されるよう、一人一人の障害の状態や教育的ニーズ等に
応じた適切な指導及び必要な支援を行えるように次の点に留意して教育課程を編成する。

- ① 本校教育課程基本方針及び個別の教育支援計画に基づき、教育課程を精選して編成する。
- ② 個人差・障害種の多様な生徒集団が協同で取り組むことのできるように、年間を通して
見通しを持った編成をする。
- ③ 各教科、各領域を通して、生活習慣の確立、学習の基礎力の定着、資質能力の育成、心
身の調和的発達を目指す。
- ④ 社会性や豊かな人間性を育むために、交流及び共同学習の体験的な学習を位置づけて編成
する。
- ⑤ 生徒の実態を把握し、学年の枠にとらわれない学習グループの編成を行い個々の能力に
応じた指導計画を作成する。
- ⑥ 教科別、領域別について個別の指導計画を作成し、指導の充実を図る。

(3) 各教科、各領域の指導の重点

【視覚障害教育、聴覚障害教育、肢体不自由教育、病弱教育】

① 各教科

ア 国語

- ・ 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにす
る。(知識及び技能)
- ・ 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わ
り、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

イ 社会

- ・ 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調
査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(知識及び技能)
- ・ 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に
見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明し
たり、それらを基に議論したりする力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・ 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする
態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の
国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄
を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深め
る。(学びに向かう力、人間性等)

ウ 数学

- ・ 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象
を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付
けるようにする。(知識及び技能)

- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

エ 理科

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

オ 音楽

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)

カ 美術

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。(知識及び技能)
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力・人間性等)

キ 保健体育

- ・各種の運動に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ク 技術・家庭

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。(思考力・判断力・表現力)
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ケ 外国語

- ・外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(知識及び技能)
- ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝

え合う力の素地を養う。(思考力・判断力・表現力等)

- ・外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

② 道徳科（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

※なお、指導については以下の点に留意する

- ・生徒の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
- ・各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動との関連を密にしながら、経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができるようにする。

③ 特別活動

- ・集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につける態度を養う。(知識及び技能)
- ・集団や自己の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定することができる態度を養う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・集団や社会生活における生活及び人間関係をよりよく形成し、自己実現を図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

④ 自立活動（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

※なお、指導内容の設定については以下の点に留意する。

- ・「自立」とは、生徒がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすることを意味している事に留意し、実態に応じた具体的な指導内容を設定する。
- ・学習指導要領に示す自立活動の内容の六区分 27 項目の中から個々の生徒に必要とされる項目を選定し、それらを相互に関連付けて具体的な指導内容を設定する。

⑤ 総合的な学習の時間

- ・探究的な学習の過程の中で、問題解決に必要な知識や技能の基礎を身につける。(知識及び技能)
- ・自分の考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う能力を養う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。(学びに向かう力、人間性等)

【知的障害教育】※“★”は“訪問教育”の“指導の重点”とする。

① 各教科

ア 国語

- ・日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切につかうことができるようにする。(知識及び技能)
- ・日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・表情、身ぶり、言葉等で表現するよさに気づくとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

イ 社会

- ・地域や我が国の地理的環境及び、歴史や伝統と文化及び外国の様子について、身近な

- できごとや体験を通して理解できるようにする。(知識及び技能)
- ・社会的事象について、自分の生活と結びつけて具体的に考え、表現できるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
 - ・社会に主体的に関わることを学び、地域社会の一員として生きていく自覚を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ウ 数学

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

エ 理科

- ・自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・観察、実験などを行い、疑問をもつ力と仮説を立てる力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

オ 音楽

- ・曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
 - ・思考力、判断力、表現力等
- 音楽表現を考えることや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)

カ 美術

- ・造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)
- ・創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)

キ 保健体育

- ・各種の運動に応じた技能等及び自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ク 職業・家庭

○職業分野

- ・職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

○家庭分野

- ・家庭の中の自分の役割に気づき、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ケ 外国語

- ・外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(知識及び技能)
- ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

★訪問教育に関しては、生徒の実態や障害の特性に応じて各教科の内容を検討し、個々に合わせた指導が進められるようにする。

② 道徳科（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
※なお、指導については以下の点に留意する
- ・生徒の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
- ・各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動との関連を密にしながら、経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができるようにする。
- ・知的障害のある生徒の指導に当たっては、個々の生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じて、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化し、体験的な活動を取り入れる。

★人との関わり合いができるようにする。

③ 特別活動

- ・学級活動、生徒会活動、学校行事等を通して集団や社会の一員としてみんなと協力し、適切な行動の仕方を身に付ける態度を養う。(知識及び技能)
- ・集団活動に積極的に参加し、集団や自己の課題解決に合意形成を図り、意思決定することができる態度を養う。(思考力・判断力・表現力等)
- ・集団や社会生活における生活及び人間関係をよりよく形成し、自己実現を図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

④ 自立活動（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克

服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

※なお、指導内容の設定については以下の点に留意する。

- ・「自立」とは、生徒がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすることを意味している事に留意し、実態に応じた具体的な指導内容を設定する。
- ・学習指導要領に示す自立活動の内容の六区分 27 項目の中から個々の生徒に必要とされる項目を選定し、それらを相互に関連付けて具体的な指導内容を設定する。

★生命の維持、健康の増進を図る。

★視覚・聴覚・触覚等の五感に働きかけ、外界の変化を感じ取らせる。

★体幹、四肢の機能の向上を図る。

⑤ 総合的な学習の時間

- ・学校間交流や就業体験、学校授業等における体験的な学習活動の機会などを通して、各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、課題や問題を理解するために必要な基本的なアイデアや概念を形成し、探究的な学習の良さを理解する。(知識及び技能)
- ・身の回りの事象に興味・関心を深め、実生活の中から課題を見だし、自ら課題を立てたり、情報を集めたりし、整理してまとめている。(思考力、判断力、表現力等)
- ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さをいかながら持続可能な社会へ参画しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

様式4 中学部

① 授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	14	198
2年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	14	199
3年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	8	193
備考													

② 訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	10	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	8	113
2年	11	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	8	114
3年	11	11	12	8	0	11	13	10	11	10	9	6	112
備考	授業日数は週3日、授業時数は週6時間を標準とする。												

様式5 中学部 (Ⅱ-A) 課程

② 標準授業時数表

Ⅱ課程(知的特別支援学校中学部の教育課程で編成)

教科等			1年		2年		3年		備考
			授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	国語		100	3	100	3	100	3	
	社会		65	2	65	2	65	2	
	数学		100	3	100	3	100	3	
	理科		65	2	65	2	65	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		100	3	100	3	100	3	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	100	3	100	3	100	3	
		家庭分野	70	2	70	2	70	2	
	外国語		70	2	70	2	70	2	
	選択教科		0		0		0		
		0		0		0			
		0		0		0			
小計		810	24	810	24	810	24		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	0	35	0	35	0	まとめ取り	
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		100	3	100	3	100	3		
計		205	5	205	5	205	5		
合計		1015	29	1015	29	1015	29		

様式5 中学部 (Ⅱ-B) 課程

② 標準授業時数表

Ⅱ課程(知的特別支援学校中学部の教育課程で編成)

教科等			1年		2年		3年		備考
			授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	国語		65	2	65	2	65	2	
	社会		65	2	65	2	65	2	
	数学		65	2	65	2	65	2	
	理科		65	2	65	2	65	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		100	3	100	3	100	3	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	100	3	100	3	100	3	
		家庭分野	70	2	70	2	70	2	
	外国語		70	2	70	2	70	2	
	選択教科		0		0		0		
			0		0		0		
		0		0		0			
小計			740	22	740	22	740	22	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な学習の時間			35	0	35	0	35	0	まとめ取り
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			170	5	170	5	170	5	
計			275	7	275	7	275	7	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

様式8 中学部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
一学期	4月7日	月	儀式的	1学期始業式		1	1	
	4月8日	火	儀式的	入学式	1	1	1	
	6月24日	火	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	
	小計				2	3	3	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
	9月22日	月	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	
	10月5日	日	健康安全・体育的	運動会	4	4	4	
	11月5日	水	健康安全・体育的	地震・津波避難訓練	1	1	1	
	小計				6	6	6	
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
	3月13日	金	儀式的	卒業式	1	1	1	
	3月19日	木	儀式的	修了式・離任式	1	1		
	小計				2	2	1	
合計					10	11	10	

様式9
その他特別活動の計画

1 中学部様式
生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当			備考
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	
生徒会活動	1 学期	2	新入生歓迎会(1) 児童生徒総会(1)	2	2	2	4月18日（金） 5月22日（木）
	2 学期	0		0	0	0	
	3 学期	2	生徒会役員選挙(1) 三年生を送る会(1)	2	2	2	2月20日（金） 3月6日（金）
合計				4	4	4	

7 高等部の教育課程

【育てたい資質・能力】考えることを大切にし、行動できる力

(1) 高等部の教育目標

- ① 自分の健康を管理できる生徒。
- ② 向上心を持ち、努力する生徒。
- ③ 互いを認め合う生徒。
- ④ 自ら考えることを大切にし、行動する生徒。
- ⑤ なりたい自分の姿を描ける生徒。

(2) 教育課程の編成方針

- ① 本校教育課程の基本方針に基づき、生徒の障害の状態、特性及び進路等に応じて、教育課程を精選して編成する。
- ② 「個別的教育支援計画」に基づき、将来の自立・社会参加に向けての長期的な視点に立った支援を、計画的・組織的に行う。
- ③ 「個別の指導計画」を作成し、生徒の障害の状態及び特性に応じた指導体制の充実を図る。
- ④ 各教科、各領域及び各教科等を合わせた指導を通して、資質能力の育成を図る。
- ⑤ 生徒の実態に応じて行事の精選を図り、就業体験等の進路指導計画を優先に実施する。
- ⑥ 社会性や豊かな人間性を育むために、地域や学校間交流等の体験的学習を計画的に行う。
- ⑦ 幼小中高連携した教育課程の編成を図る。

(3) 各教科、各領域の指導の重点

【視覚障害教育、聴覚障害教育、肢体不自由教育、病弱教育】（準ずる教育）

- ・高等学校の当該学年に準じた教育内容を主として編成する。
- ・障害の状態により、当該学年の学習内容が困難な生徒は、下学年の指導内容を代替して編成する。

① 各教科

ア 国語

- ・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成するとともに、心情を豊かにし、言語感覚を磨いて日常生活に生かすことができるようにする。（知識及び技能）
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・日本語の言葉の特徴やきまりを理解し、我が国の伝統的な言語文化への興味・関心を広げる態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

イ 地理歴史

- ・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

ウ 公民

- ・選択、判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

エ 数学

- ・数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深める。(知識及び技能)
- ・事象を数学的に考察し表現する能力を高める。(思考力、判断力、表現力等)
- ・数学のよさを認識し、それらを活用する態度を育てる。(学びに向かう力、人間性等)

オ 理科

- ・自然の事物・現象について初歩的な概念や原理について理解を深め、生徒の実態に応じた観察・実験に関する基本操作や記録などの技能を身につける。(知識及び技能)
- ・観察や実験、調べ学習等を行い、科学的に考察し表現する力を高める。(思考力、判断力、表現力等)
- ・自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しを持ち振り返ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

カ 保健体育

〈体育〉

- ・運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付ける。(知識及び技能)
- ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断し、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、仲間と協力する、自己の責任を果たす、参画する態度を育てる。(学びに向かう力、人間性等)

〈保健〉

- ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、技能を身に付ける。(知識及び技能)
- ・自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断し、他者に伝える。(思考力、判断力、表現力等)
- ・自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指す。(学びに向かう力、人間性等)

キ 音楽

- ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)

- ・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫すること、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽に親しむ気持ちを育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ク 美術

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。(知識及び技能)
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ケ 外国語（英語）

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身につけるようにする。(知識及び技能)
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

コ 家庭

- ・生活に必要な知識と技術を習得させ、自分の生活に活かす態度を養う。(知識及び技能)
- ・社会で起こる出来事について関心を持ち、家庭でできる課題として捉え、解決策を考え、実践できる態度と能力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・人間の生涯にわたる生活設計を総合的にとらえ、社会との関わりの中で、より良く生きようとする態度と実践的な能力を育てる。(学びに向かう力、人間性等)

サ 情報

- ・情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。(知識及び技能)
- ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

シ 産業社会と人間

- ・産業社会における自己の在り方生き方に触れ、自己の能力・適性、興味・関心等と各種職業に求められる資質・能力について理解を深める。(知識及び技能)
- ・自己の将来の生き方や進路について考え、考えたことを選択・判断したりする力、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・就業体験等と連動し、社会生活や職業生活に必要な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成を図る。(学びに向かう力、人間性等)

② 総合的な探究の時間

- ・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する力を育てる。(知識及び技能)
- ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理、比較してまとめ・表現する力の育成を図る。(思考力、判断力、表現力等)
- ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。(学びに向かう力、人間性等)

③ 特別活動

- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、そうした実践をする上で必要となることを理解できるようにする。(知識及び技能)
- ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践できるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践できるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

④ 自立活動（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。
※なお、指導内容の設定については以下の点に留意する。
- ・「自立」とは、生徒がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすることを意味している事に留意し、実態に応じた具体的な指導内容を設定する。
- ・学習指導要領に示す自立活動の内容の六区分 27 項目の中から個々の生徒に必要とされる項目を選定し、それらを相互に関連付けて具体的な指導内容を設定する。

【知的障害教育】

- | |
|--|
| ・生徒の実態に応じて教科別、領域別、各教科等を合わせた指導で編成することもある。 |
|--|

① 各教科

ア 国語

- ・社会参加に必要な、話す・聞く・書く・読む力を育て、適切に使うことができるようにする。(知識及び技能)
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・情報機器の簡単な操作を身につけるとともに言語感覚を養い、表情や身振り、言葉で表現しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

イ 社会

- ・社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し、活用する技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・身のまわりの社会的事象や情報メディア等に興味・関心をもたせ、情報の取り扱いについて注意することや情報の発信にもマナーがあることを理解する。(思考力、判断力、表現力等)
- ・社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ウ 数学

- ・数量や図形などの基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。(知識及び技能)
- ・日常の事象を数理的に捉え、筋道を立てて考察する力や数学的な表現を用いて事象を表す力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、粘り強く考える態度や数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

エ 理科

- ・自然の事物、現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。(知識及び技能)
- ・観察、実験などを行い、疑問を持つ力や解決の方法を考える力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

オ 外国語（英語）

- ・聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身につけるようにする。(知識及び技能)
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図を理解しようとする、またこれらを活用して、表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

カ 音楽

- ・音楽の構造や多様性について理解するとともに、音楽表現に必要な技能を身につける。(知識及び技能)
- ・音楽表現を創意工夫し、音楽のよさや美しさを自分なりに味わって聴くことができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)

キ 美術

- ・造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(知識及び技能)

- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

ク 保健体育

- ・各種の運動の特性に応じた知識・技能を身に付けるとともに、個人生活及び社会生活における健康・安全について理解を深める。(知識及び技能)
- ・自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考・判断する力や目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・生涯にわたって継続して運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指す。(学びに向かう力、人間性等)

ケ 職業

- ・職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- ・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

コ 家庭

- ・生活に必要な知識と技術を学び、自分の生活に活かす態度を養う。(知識及び技能)
- ・社会で起こる出来事について関心を持ち、家庭でできる課題として捉え、解決策を考え、実践できる態度を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・人間の生涯にわたる生活設計を総合的にとらえ、社会との関わりの中で、より良く生きようとする態度を育てる。(学びに向かう力、人間性等)

サ 情報

- ・身近にある情報と情報技術について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。(知識及び技能)
- ・身近にある事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切に活用する力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・身近にある情報と情報技術について個々に適した活用を図り、主体的に活用する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

② 道徳科

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
※なお、指導については以下の点に留意する
- ・生徒の障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
- ・各教科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動との関連を密にしながら

ら、経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができるようにする。

- ・知的障害のある生徒の指導に当たっては、個々の生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じて、適切に指導の重点を定め、指導内容を具体化し、体験的な活動を取り入れる。

③ 総合的な探究の時間

- ・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する力を育てる。(知識及び技能)
- ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理、比較してまとめ・表現する力の育成を図る。(思考力、判断力、表現力等)
- ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。(学びに向かう力、人間性等)

④ 特別活動

- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、そうした実践をする上での必要性について理解を深めるようにする。(知識及び技能)
- ・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をして実践できるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践できるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

⑤ 自立活動（準ずる教育課程・知的障害教育課程共通）

- ・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

※なお、指導内容の設定については以下の点に留意する。

- ・「自立」とは、生徒がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすることを意味している事に留意し、実態に応じた具体的な指導内容を設定する。
- ・学習指導要領に示す自立活動の内容の六区分 27 項目の中から個々の生徒に必要とされる項目を選定し、それらを相互に関連付けて具体的な指導内容を設定する。

様式6 高等部

① 授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	11	195
2年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	11	196
3年	17	20	20	14	0	19	22	18	19	18	18	8	193
備考													

② 訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	13	18	16	12	0	17	19	16	16	16	15	11	169
2年	13	18	16	12	0	17	19	16	16	16	15	11	169
3年	13	18	16	12	0	17	19	16	16	16	15	11	169
備考	授業日数は週4日、授業時数週8時間を標準とする。												

様式7 高等部普通科（Ⅱ-A）課程

② 標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		2年		3年		備考
			授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各学科に共通する各教科	国語		65	2	65	2	65	2	
	社会		35	1	35	1	35	1	
	数学		65	2	65	2	65	2	
	理科		35	1	35	1	35	1	
	音楽		35	1	35	1	35	1	
	美術		65	2	65	2	65	2	
	保健体育		100	3	100	3	100	3	体育理論・保健を含む
	職業		340	10	340	10	340	10	
	家庭		35	1	35	1	35	1	
	外国語		35	1	35	1	35	1	
	情報		35	1	35	1	35	1	
	学校設定科目								
共通教科・科目時数小計			845	25	845	25	845	25	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間			35	0	35	0	35	0	まとめ取り
特別活動		ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動			100	3	100	3	100	3	
その他小計			205	5	205	5	205	5	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式7 高等部普通科（Ⅱ-B）課程

② 標準授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		2年		3年		備考
			授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各学科に共通する各教科	国語		35	1	35	1	35	1	
	社会		35	1	35	1	35	1	
	数学		35	1	35	1	35	1	
	理科		35	1	35	1	35	1	
	音楽		35	1	35	1	35	1	
	美術		65	2	65	2	65	2	
	保健体育		100	3	100	3	100	3	体育理論・保健を含む
	職業		335	10	335	10	335	10	
	家庭		35	1	35	1	35	1	
	外国語		35	1	35	1	35	1	
	情報		35	1	35	1	35	1	
	学校設定科目								
共通教科・科目時数小計			780	23	780	23	780	23	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間			35	0	35	0	35	0	まとめ取り
特別活動		ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動			165	5	165	5	165	5	
その他小計			270	7	270	7	270	7	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式8 高等部
年間行事計画

学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
一学期	4月7日	月	儀式的	1学期始業式		1	1	
	4月8日	火	儀式的	入学式	1	1	1	
	6月24日	火	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	
	小計					2	3	3
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
	9月22日	月	健康安全・体育的	火災避難訓練	1	1	1	
	10月5日	日	健康安全・体育的	運動会	4	4	4	
	11月5日	水	健康安全・体育的	地震・津波避難訓練	1	1	1	
	小計					6	6	6
学期	月日	曜日	行事名		時間配当			備考
			種類	事項	1年	2年	3年	
	3月13日	金	儀式的	卒業式	1	1	1	
	3月19日	木	儀式的	修了式・離任式	1	1		
	小計					2	2	1
合計					10	11	10	

様式9
その他特別活動の計画

1 高等部様式
生徒会活動年間予定時数

	学期	実施予定		時間配当			備考
		回数	内容（時数）	1年	2年	3年	
生徒会活動	1 学期	2	児童生徒総会(1)	1	1	1	5月22日（木）
	2 学期	0		0	0	0	
	3 学期	2	生徒会役員選挙(1)	1	1	1	2月20日（金）
合計				2	2	2	

10 週時程表（様式12）

（ 幼稚 ）部

週（20）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:50						
生活に必要な活動 遊び・自活	8:50 ～ 10:00	70	1	5	9	13	17
生活に必要な活動(朝の会)	10:00 ～ 10:25	25	1.5	5.5	9.5	13.5	17.5
遊び	10:25 ～ 11:30	65	2.5	6.5	10.5	14.5	18.5
生活に必要な活動	11:30 ～ 11:50	20	3	7	11	15	19
給食	11:50 ～ 12:30	40					
生活に必要な活動	12:30 ～ 13:10	40	4	8	12	16	20
生活に必要な活動(帰りの会)	13:10 ～ 13:20	10					
下校	13:20						
備考:すべての活動において自立活動を配慮する。							

（ 小 ）部 訪問教育課程

週（6）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
1校時	8:55 ～ 9:40	45					
2校時	9:50 ～ 10:35	45	A1	C1	B3	C5	B5
3校時	10:45 ～ 11:30	45	A2	C2	B4	C6	B6
4校時	11:40 ～ 12:25	45	移動（午前分）				
(昼食)	12:25 ～ 13:00	35	昼食				
	13:00 ～ 13:25	25	移動（午後分）				
5校時	13:25 ～ 14:10	45	B1	A3	C3	A5	
6校時	14:20 ～ 15:05	45	B2	A4	C4	A6	
備考:授業日数は週3日、週授業時数は6時間を標準 児童の居住地を考慮し、一定の移動時間を確保する。 スクーリングは年間を通して適切に設定する。							

（ 小 ）部 （1）年 （Ⅰ、Ⅱ）課程

週（25）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:40						
学活	8:40 ～ 8:55	15					
1校時	8:55 ～ 9:40	45	1	6	11	16	21
2校時	9:50 ～ 10:35	45	2	7	12	17	22
3校時	10:45 ～ 11:30	45	3	8	13	18	23
4校時	11:40 ～ 12:25	45	4	9	14	19	24
給食	12:25 ～ 13:25	60					
5校時	13:25 ～ 14:10	45	5	10	15	20	25
学活	14:10 ～ 14:20	10					
下校	14:20						
備考:							

（ 小 ）部 （2）年 （Ⅰ、Ⅱ）課程

週（26）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
学活	8:40 ～ 8:55	15					
1校時	8:55 ～ 9:40	45	1	6	12	17	22
2校時	9:50 ～ 10:35	45	2	7	13	18	23
3校時	10:45 ～ 11:30	45	3	8	14	19	24
4校時	11:40 ～ 12:25	45	4	9	15	20	25
給食	12:25 ～ 13:25	60					
5校時	13:25 ～ 14:10	45	5	10	16	21	26
6校時	14:20 ～ 15:05	45	学活 14:10 ～ 14:20	11	学活 14:10 ～ 14:20		
学活	15:05 ～ 15:20	15					
下校	15:20		14:20		14:20	14:20	14:20
備考:							

（ 小 ）部 （3）年 （Ⅰ、Ⅱ）課程

週（28）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:40						
学活	8:40 ～ 8:55	15					
1校時	8:55 ～ 9:40	45	1	6	12	18	24
2校時	9:50 ～ 10:35	45	2	7	13	19	25
3校時	10:45 ～ 11:30	45	3	8	14	20	26
4校時	11:40 ～ 12:25	45	4	9	15	21	27
給食	12:25 ～ 13:25	60					
5校時	13:25 ～ 14:10	45	5	10	16	22	28
6校時	14:20 ～ 15:05	45	学活 14:10 ～ 14:20	11	17	23	学活 14:10 ～ 14:20
学活	15:05 ～ 15:20	15					
下校	15:20						
備考:							

（ 小 ）部 （4～6）年 （Ⅰ、Ⅱ）課程

週（29）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:40						
学活	8:40 ～ 8:55	15					
1校時	8:55 ～ 9:40	45	1	7	13	19	25
2校時	9:50 ～ 10:35	45	2	8	14	20	26
3校時	10:45 ～ 11:30	45	3	9	15	21	27
4校時	11:40 ～ 12:25	45	4	10	16	22	28
給食	12:25 ～ 13:25	60					
5校時	13:25 ～ 14:10	45	5	11	17	23	29
6校時	14:20 ～ 15:05	45	6	12	18	24	学活 14:10 ～ 14:20
学活	15:05 ～ 15:20	15					
下校	15:20						
備考:							

10 週時程表（様式12）

（ 中学 ）部 （ 1～3 ）年 （ I、II ）課程 週（ 29 ）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:40						
学活	8:40 ～ 8:50	10					
1校時	8:50 ～ 9:40	50	1	7	13	19	25
2校時	9:50 ～ 10:40	50	2	8	14	20	26
3校時	10:50 ～ 11:40	50	3	9	15	21	27
4校時	11:50 ～ 12:40	50	4	10	16	22	28
給食	12:40 ～ 13:20	40					
5校時	13:20 ～ 14:10	50	5	11	17	23	29
6校時	14:20 ～ 15:10	50	6	12	18	24	学活
学活	15:10 ～ 15:20	10					14:20下校
下校	15:20						
備考:							

（ 中学 ）部 訪問教育課程 週（ 6 ）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
1校時	8:50 ～ 9:40	50	移動（午前分）				
2校時	9:50 ～ 10:40	50	A1	C1	B3	C5	B5
3校時	10:50 ～ 11:40	50	A2	C2	B4	C6	B6
4校時	11:50 ～ 12:40	50	移動（午前分）				
(昼食)	12:40 ～ 13:10	30	昼食				
	13:10 ～ 13:20	10	移動（午後分）				
5校時	13:20 ～ 14:10	50	B1	A3	C3	A5	
6校時	14:20 ～ 15:10	50	B2	A4	C4	A6	
			移動（午後分）				
備考:授業日数は週3日、週授業時数は6時間を標準 生徒の居住地を考慮し、一定の移動時間を確保する。 スクーリングは年間を通して適切に設定する。							

（ 高等 ）部 （ 1～3 ）年 （ I、II ）課程 週（ 30 ）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金
登校	8:40						
SHR	8:40 ～ 8:50	10					
1校時	8:50 ～ 9:40	50	1	7	13	19	25
2校時	9:50 ～ 10:40	50	2	8	14	20	26
3校時	10:50 ～ 11:40	50	3	9	15	21	27
4校時	11:50 ～ 12:40	50	4	10	16	22	28
給食	12:40 ～ 13:20	40					
5校時	13:20 ～ 14:10	50	5	11	17	23	29
6校時	14:20 ～ 15:10	50	6	12	18	24	30
SHR	15:10 ～ 15:20	10					
下校	15:20						
備考:							

（ 高等 ）部 訪問教育課程 週（ 8 ）時間

時程名	時刻	時間	月	火	水	木	金	
			移動（午前分）					
1校時	8:50 ～ 9:40	50	移動（午前分）		A5	B5	C5	
2校時	9:50 ～ 10:40	50	A1	C1	A6	B6	C6	
3校時	10:50 ～ 11:40	50	A2	C2	A7	B7	C7	
4校時	11:50 ～ 12:40	50	移動（午前分）		A8	B8	C8	
（昼食）	12:40 ～ 13:10	30	（昼食）		移動（午前分）			
	13:10 ～ 13:20	10	移動（午後分）					
5校時	13:20 ～ 14:10	50	B1	A3	B3	C3		
6校時	14:20 ～ 15:10	50	B2	A4	B4	C4		
			移動（午後分）					
備考:授業日数は週4日、週授業時数は8時間を標準 生徒の居住地を考慮し、一定の移動時間を確保する。 スクーリングは年間を通して適切に設定する。								

6 学級編制表

(令和7年5月1日現在)

学部	学年・組	幼児児童生徒数			学級数	学級の種類	備考
		男	女	計			
	3歳	1	0	1	1		
	5歳	1	0	1			
	小 計	1	0	1	1		
小学部	1年1組	3	2	5	1	一般学級	[知的障害教育] 一般学級……26名 重複学級……21名 (3年生の2名は4年3組に位置づける)
	1年2組	1	2	3	1	重複学級	
	2年1組	2	1	3	1	一般学級	
	2年2組	2	1	3	1	重複学級	
	3年1組	3	1	4	1	一般学級	
	3年2組	3	0	3	1	重複学級	
	4年1組	4	1	5	1	一般学級	
	4年2組	2	1	3	1	重複学級	
	4年3組	1	2	3	1	重複学級(複式)	
	5年1組	2	2	4	1	一般学級	
	5年2組	0	3	3	1	重複学級	
	6年1組	4	1	5	1	一般学級	
	6年2組	1	2	3	1	重複学級	
	小 計	28	19	47	13		
中学部	1年1組	2	0	2	1	一般学級	[知的障害教育] 一般学級……15名 重複学級……4名 (2年生1名は3年3組に位置づける)
	1年2組	1	1	2	1	重複学級	
	2年1組	1	2	3	1	一般学級	
	3年1組	4	0	4	1	一般学級	
	3年2組	4	2	6	1	一般学級	
	3年3組	0	2	2	1	重複学級(複式)	
	小計	12	7	19	6		
高等部	1年1組	3	1	4	1	一般学級	[知的障害教育] 知的一般……23名 重複学級……5名 (1年生1名は2年2組に位置づける)
	1年2組	3	2	5	1	一般学級	
	2年1組	4	1	5	1	一般学級	
	2年2組	1	2	3	1	重複学級(複式)	
	3年1組	4	0	4	1	一般学級	
	3年2組	3	2	5	1	一般学級	
	3年3組	0	2	2	1	重複学級	
	小 計	18	10	28	7		
合 計		59	36	95	27		

7 令和7年度使用教科書一覧

学部	種目	発行者	図書名	学部	種目	発行者	図書名
小学部	国語	偕成社	エリック・カールの絵本 はらべこあおむし	高等部	音楽Ⅰ	教芸(教育芸術社)	MOUSA1
	国語	同成社	ゆっくり学ぶ子のための こくご1 ひらがなのことば・文・文章の読み		図工・美術	東京書籍	みつけて！アートたんてい
	国語	同成社	ゆっくり学ぶ子のための こくご2 かたかな・かん字の読み書き		職業・家庭	日本教育研	ひとりだちするための進路学習
	国語	同成社	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2(改訂版)(ひらがなの読み書き)		理科	東京書籍	理科 ☆☆☆☆
	国語	ひさかた	「おーい かばくん」		理科	東京書籍	理科 ☆☆☆☆
	国語	ブロンズ新	だるまさんが		社会	東京書籍	社会 ☆☆☆☆
	国語	講談社	りんごがコロコロ コロリンコ		社会	東京書籍	社会 ☆☆☆☆
	国語	東京書店	わくわく音あそびえほん新装版にほんご★えいごおしゃべりタブレットえほん				
	社会	偕成社	木村裕一しかけ絵本12 げんきにこあいさつ				
	社会	学研	はっけんずかん のりもの(改訂版)				
	算数・数学	同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3(6～9のたし算、ひき算、位取り)				
	算数・数学	同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4(くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算)				
	算数・数学	ひさかた	スキップ絵本かずのえほん				
	算数・数学	偕成社	エリック・カールかずのほん1, 2, 3どうぶつえんへ				
	算数・数学	小学館	21世紀幼稚園百科6かずあそび1・2・3				
	理科	ひかりのく	改訂新版 体験を広げることものずかん8 あそびのずかん				
	音楽	朝日新聞出版	うたおう♪はなそう！うた&ことばタブレット				
	音楽	成美堂出版	音と光のでる絵本いっぱいスイッチ				
	図工・美術	ブロンズ新	らくがき絵本PART2五味太郎25%				
	図工・美術	戸田デザイ	6つの色				
	図工・美術	学研	あそびのおうさまBOOKぬって				
	図工・美術	大日本図書	いろいろパス				
	図工・美術	グラフィク	アートであそぼおえかきレッスンわくわくワーク				
	職業・家庭	福音館	福音館の単行本かがみのえほんきょうのおやつは				
	職業・家庭	小学館	まどあけずかん たべもの:英語つき				
	英語	朝日新聞出版	あいうえおABCタブレット音でる♪知育絵本				
	英語	金の星社	ABCのえほん				
	英語	小学館	タッチペンで音が聞ける！ドラえもんはじめての英会話辞典				
	英語	コスミック	えいごにほんご どうようえほん				
	英語	ベネッセ	しまじろうの えいごの うた				
	英語	講談社	おしゃべりタッチペンつき！にほんご えいご はじめてのずかん900				
	道徳	少年写真新	きもち				
	道徳	偕成社	フランソワーズのえほんありがとうのえほん				
	道徳	日本図書	おやくそくえほんはじめての「よのなかルールブック」				
	道徳	永岡書店	ポップアップ絵本 カラーモンスター きもちはなにいろ？				
中学部	国語	同成社	ゆっくり学ぶ子のための こくご2 かたかな・かん字の読み書き	高等部			
	国語	同成社	ゆっくり学ぶ子のための こくご3 文章を読む、作文・詩を書く				
	国語	ブロンズ新	だるまさんが				
	国語	講談社	りんごがコロコロ コロリンコ				
	社会	小学館	ドラえもん ちずかん2 せかいちず				
	算数・数学	同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3(6～9のたし算、ひき算、位取り)				
	算数・数学	偕成社	エリック・カールかずのほん1, 2, 3どうぶつえんへ				
	理科	パイインタ	はじめてのほしぞらえほん				
	図工・美術	戸田デザイ	6つの色				
	保・保体	大泉書店	だいじだいじどーこだ？はじめての「からだ」と「性」のえほん				
	職業・家庭	開隆堂出版	職業・家庭たのしい職業科わたしの夢につながる				
	音楽	東京書店	音楽☆☆☆☆				
	道徳	小学館	マンガでわかる よのなかのルール				

Ⅳ 幼児児童生徒の実態

1 疾病、障害の状況

令和7年5月1日現在

		幼稚園			小学部			中学部			高等部			合計		
学部		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
性別	在籍	2	0	2	28	19	47	12	7	19	18	10	28	60	36	96
知的障害	知的障害	2		2	16	9	25	10	3	13	6	7	13	34	19	53
	自閉症・自閉的傾向	1		1	11	5	16	11	1	12	5	3	8	28	9	37
	広汎性発達障害			0	1		1			0	1	1	2	2	1	3
	注意欠陥多動性障害（ADHD）	1		1	6		6	2		2	3	1	4	12	1	13
	学習障害（LD）			0			0			0		2	2	0	2	2
	てんかん			0		1	1		1	1	1	1	2	1	3	4
	境界知能			0			0			0	1		1	1	0	1
	脳性麻痺			0	1		1			0			0	1	0	1
	全前脳症			0			0		1	1			0	0	1	1
	脳梁欠損症			0		1	1			0		1	1	0	2	2
	感染症後遺症			0			0			0			0	0	0	0
	8トリソミー			0			0			0			0	0	0	0
	ウエスト症候群			0	1		1			0			0	1	0	1
	側湾症			0			0					1	1	0	1	1
	ダウン症			0	2	1	3		2	2	2	1	3	4	4	8
	心室・心房中隔欠損症			0	1		1		1	1	1		1	2	1	3
	ファロー四徴症			0	1		1			0			0	1	0	1
	動脈管開存症			0	1		1			0	1		1	2	0	2
	甲状腺機能低下症			0	2		2		2	2	2		2	4	2	6
	本態性高Na血症			0			0		1	1			0	0	1	1
	中枢性尿崩症			0	1		1		1	1			0	1	1	2
	未熟児網膜症			0			0	1		1			0	1	0	1
	斜視			0	1	1	2	1		1			0	2	1	3
	聴覚障害・難聴			0	1		1			0	2		2	3	0	3
	両上下肢の片側麻痺			0	1		1			0			0	1	0	1
	皮膚形成異常			0	1		1			0			0	1	0	1
	バライサーウィンター症候群			0		1	1			0			0	0	1	1
	喉頭咽頭軟化症			0		1	1			0			0	0	1	1
	ドラベ症候群			0	1		1			0			0	1	0	1
	小頭症			0			0		1	1			0	0	1	1
	21トリソミー			0	1	1	2		1	1	1		1	2	2	4
	睡眠障害			0	1		1			0			0	1	0	1
	アルポート症候群			0			0			0	1		1	1	0	1
	メサングウム増殖性腎炎			0			0			0	1		1	1	0	1
	先天性サイトメガロウイルス感染症			0	1	1	2			0			0	1	1	2
	嚥下障害			0			0			0			0	0	0	0
	口唇口蓋裂			0			0			0			0	0	0	0
	頭蓋内出血2度			0	1	1	2			0			0	1	1	2
	右腎臓不形成			0			0			0			0	0	0	0
	IVH両側Ⅱ度			0	1		1			0			0	1	0	1
	小児期脱抑制性受着障害			0			0			0			0	0	0	0
肢体不自由	知的障害			0	3	1	4		1	1			0	3	2	5
	てんかん			0		1	1		1	1			0	0	2	2
	脳性麻痺			0	1	3	4		1	1		1	1	1	5	6
	両上下肢・体幹機能障害			0			1			0			0	0	1	1
	両上肢の機能全廃			0	2		2			0			0	2	0	2
	両上下肢の機能全廃			0			0			0			0	0	0	0
	下肢麻痺			0		1	1			0			0	0	1	1
	右・左上肢の機能全廃			0			0			0			0	0	0	0
	滑脳症			0			0		1	1			0	0	1	1
	ウエスト症候群			0			0	1		1			0	1	0	1
	感染症後遺症			0			0			0			0	0	0	0
	ダウン症			0			0			0			0	0	0	0
	ファロー四徴症			0	1	1	2			0			0	1	1	2
	未熟児網膜症			0	1		1			0			0	1	0	1
	聴覚障害・難聴			0		1	1			0			0	0	1	1
	ループス腎炎（じん臓機能障害）			0			0			0			0	0	0	0
	22q11.2欠失症候群			0		1	1			0			0	0	1	1
	プロピオン酸血			0			0			0			0	0	0	0
	二分脊椎			0			0			0			0	0	0	0
	水頭症			0		2	2			0			0	0	2	2
	キアリ奇形			0		2	2			0			0	0	2	2
	直腸膀胱障害			0			0			0			0	0	0	0
	側湾症			0			0			0			0	0	0	0
	痙攣重費型脳症			0	1		1			0			0	1	0	1
	太田原症候群			0			0	1		1			0	1	0	1
	喘息			0			0			0			0	0	0	0
	閉塞性睡眠時無呼吸症候群			0			0			0			0	0	0	0
	低酸素生虚血性脳症			0		2	2			0			0	0	2	2
	肺動脈性肺高血圧症			0	1		1			0			0	1	0	1
	心房・心室中隔欠損			0	2		2			0			0	2	0	2
	中枢性低換気症候群			0			0			0			0	0	0	0
	嚥下障害			0		2	2		1	1			0	0	3	3
	ミラーディカー症候群			0			0			0			0	0	0	0
	先天性股関節脱臼			0		1	1			0			0	0	1	1
	場面緘黙症			0		1	1			0			0	0	1	1
	水腎症			0		1	1			0			0	0	1	1
	21トリソミー			0	1	1	2			0			0	1	1	2
	胃食道逆流症			0			0		1	1			0	0	1	1
病弱	知的障害			0			0			0		1	1	0	1	1
	てんかん			0			0			0			0	0	0	0
	脳性麻痺			0			0			0			0	0	0	0
	中枢性低換気症候群			0			0			0			0	0	0	0
	先天性筋強直性ジストロフィー			0			0			0		1	1	0	1	1
	慢性肺疾患			0			0			0			0	0	0	0
	滑脳症			0			0			0			0	0	0	0
	中枢性尿崩症			0			0			0			0	0	0	0
	ミラーディカー症候群			0			0			0			0	0	0	0
	洞不全症候群			0			0			0			0	0	0	0
聴覚	三尖弁閉鎖症			0			0			0	1		1	1	0	1
	ループス腎炎			0			0			0			0	0	0	0
	器質性精神病的障害			0			0			0			0	0	0	0
	知的障害			0	1		1			0			0	1	0	1
視覚	自閉症・自閉的傾向			0	1		1			0			0	1	0	1
	聴覚障害・難聴			0	1		1			0			0	1	0	1
	弱視			0	1		1			0			0	1	0	1
	未熟児網膜症			0	1		1			0			0	1	0	1

主障害	人数（人）	割合（％）
聴覚	1	1.0
視覚	2	2.1
肢体	15	15.6
病弱	2	2.1
知的	76	79.2
合計	96	100.0

2 卒業生の進路状況

(令和6年5月1日現在)

年 度	職 業 訓 練 校 訓 練 施 設	福 祉 事 業 所 (含児童福祉施設)	就 職	家 業 在 宅	その他	計
平成10年	0	0	0	6	0	6
平成11年	0	3	2	3	0	8
平成12年	0	7	4	0	0	11
平成13年	0	2	2	0	3	7
平成14年	0	2	2	0	1	5
平成15年	0	5	2	0	1	8
平成16年	0	2	0	0	0	2
平成17年	0	1	4	0	0	5
平成18年	0	3	2	0	0	5
平成19年	1	3	3	0	1	8
平成20年	0	5	4	0	0	9
平成21年	0	8	3	0	0	11
平成22年	0	5	4	3	0	12
平成23年	0	7	6	0	0	13
平成24年	0	6	5	0	0	11
平成25年	0	4	3	0	0	7
平成26年	※1 1	7	4	0	0	12
平成27年	0	3	1	1	1	6
平成28年	0	4	4	0	2	10
平成29年	0	3	7	1	0	11
平成30年	0	3	3	2	4	12
令和元年度	0	7	3	0	2	12
令和2年度	0	6	2	0	3	11
令和3年度	0	6	3	0	2	11
令和4年度	0	6	3	0	0	9
令和5年度	0	7	2	0	0	9
令和6年度	0	2	1	0	3	6

※1：県立農業大学校進学(1名)

3 幼児児童生徒数(教育部門、部、学級種別、学年、性別毎)

教育部門	學級種別	性別	幼稚園				小学部								中学部				高等部				合計
			3歲兒	4歲兒	5歲兒	計	1學年	2學年	3學年	4學年	5學年	6學年	計	1學年	2學年	3學年	計	1學年	2學年	3學年	計		
視覺障害	一般	男																					0
		女																					0
	計																						0
	重複障害	男																					0
		女																					0
	計																						0
	訪問	男																					0
		女																					0
聴覚障害	一般	男																					0
		女																					0
	計																						0
	重複障害	男					1			1		2											2
		女																					0
	計						1			1		2											2
	訪問	男																					0
		女																					0
知的障害	一般	男	1		1	2	3	2	3	4	2	4	18	2	1	8	11	6	4	7	17		48
		女					2	1	1	1	2	1	8	0	2	2	4	3	1	2	6		18
	計		1		1	2	5	3	4	5	4	5	26	2	3	10	15	9	5	9	23		66
	重複障害	男						2	1			1	4										4
		女									1	1	3		1		1			1	1		5
	計							2	1	1	1	2	7		1		1						8
	訪問	男																					0
		女																					0
肢体不自由	一般	男																					0
		女																					0
	計																						0
	重複障害	男							2	2			4	1			1						5
		女					2	1	2		2	1	8	1			1	1	1		2		11
	計						2	1	4	2	2	1	12	2			2						14
	訪問	男																					0
		女																					0
病弱	一般	男																					0
		女																					0
	計																						0
	重複障害	男																1			1		1
		女																	1		1		2
	計																						1
	訪問	男																					0
		女																					0
合計	一般	男	1	0	1	2	3	2	3	4	2	4	18	2	1	8	11	6	4	7	17		48
		女	0	0	0	0	2	1	1	1	2	1	8	0	2	2	4	3	1	2	6		18
	計		1	0	1	2	5	3	4	5	4	5	26	2	3	10	15	9	5	9	23		66
	重複障害	男	0	0	0	0	1	2	3	3	0	1	10	1	0	0	1	0	1	0	1		12
		女	0	0	0	0	2	1	2	1	3	2	11	1	1	1	3	1	1	2	4		18
	計		0	0	0	0	3	3	5	4	3	3	21	2	1	1	4	0	0	0	0		25
	訪問	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

4 市町村(本人住民基本台帳)別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
視覚障害	宮古島市				0							0				0				0	0
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚障害	宮古島市				0	1			1			2				0				0	2
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
知的障害	宮古島市	1		1	2	5	5	5	6	5	7	33	2	4	10	16	9	5	10	24	75
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	1	0	1	2	5	5	5	6	5	7	33	2	4	10	16	9	5	10	24	75
肢体不自由	宮古島市				0	2	1	4	2	2	1	12	2			2	1	1		2	16
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	2	1	4	2	2	1	12	2	0	0	2	1	1	0	2	16
病弱	宮古島市				0							0			1	1		1	1	2	3
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	3
合計		1	0	1	2	8	6	9	9	7	8	47	4	4	11	19	10	7	11	28	96

5 市町村(保護者等住民基本台帳)別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
視覚障害	宮古島市				0							0				0				0	0
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚障害	宮古島市				0	1			1			2				0				0	2
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
知的障害	宮古島市	1		1	2	5	5	5	6	5	7	33	2	4	10	16	9	5	10	24	75
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	1	0	1	2	5	5	5	6	5	7	33	2	4	10	16	9	5	10	24	75
肢体不自由	宮古島市				0	2	1	4	2	2	1	12	2			2	1	1		2	16
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	2	1	4	2	2	1	12	2	0	0	2	1	1	0	2	16
病弱	宮古島市				0							0			1	1		1	1	2	3
	多良間村				0							0				0				0	0
	その他				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	3
合計		1	0	1	2	8	6	9	9	7	8	47	0	0	0	19	0	0	0	28	96

V 寄 宿 舎 運 営

1、寄宿舎教育目標

本校教育目標と教育方針に基づき、集団生活を通して次の目標に努める。

- (1) 元気良く挨拶ができる。
- (2) 進んで協力、楽しい生活ができる。
- (3) 規則を守り、皆と仲良く遊ぶことができる。
- (4) 自分のことは自分でできる。
- (5) 身の回りを清潔にし、身の周りの整理整頓ができる。
- (6) 好き嫌いをなくし、健康な体を作る。
- (7) 善悪の判断ができる。

2、指導方針

- (1) 児童生徒の発達や環境等の実態を把握する。
- (2) 親から独立して集団生活に慣れるようにする。
- (3) 個々の発達に即した指導を行う。
- (4) 学校教育と一貫した生活がおくれるようにする。
- (5) ゆとりある充実した生活がおくれるようにする。

3、寄宿舎教育内容

- (1) 日常生活の指導（基本的生活能力の確立）
- (2) 自主的活動の指導（自主的・自発的な態度の育成）
- (3) 保健指導（自己の健康管理能力の育成）
- (4) 規則正しい生活の指導（寄宿舎規則日課）

4、指導方法

- (1) 舍務分掌の各係の指導計画に基づき指導を行う。
- (2) 集団生活を通して指導を行う。
- (3) 個別の生活指導計画に沿って統一した指導を図る。

5、指導体制

- (1) 寄宿舎職員による集団指導。
- (2) 部屋担当制を取り入れて複数指導。
- (3) 宿直者より業務を引き継いで指導の統一を図る。
- (4) 学級担任と連携を密に指導。
- (5) 保護者との連携を密にする。

6、入舎方針

- (1) 学校教育法に基づき、基本的生活習慣の形成を図ることを目的として、離島や通学困難及び生活指導の必要な児童生徒を対象に行う。

7、入退舎

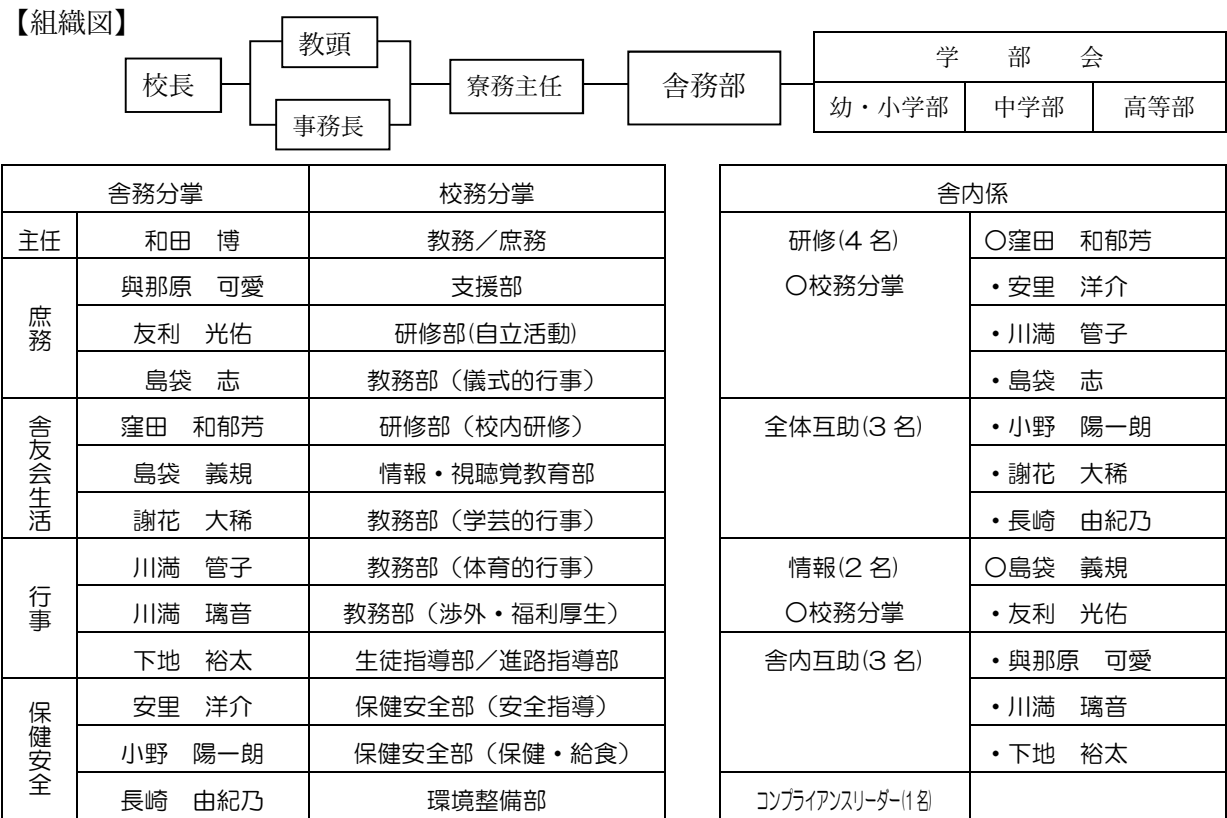
- (1) 入舎については、所定の手続きをし、入舎選考委員会の審議を経て学校長の許可を受ける。
- (2) 入舎期間は、全員入舎式から卒業式及び修了式までの1年間とし、同日をもって全員退舎とする。

令和 7 年度 寄宿舍 部屋割り・職員割り当て一覧

- (1) 寄宿舍定数：最大 24 名
(2) 寄宿舍生年齢：基本的に小学 4 年生から入舎可能
(3) 令和 7 年 4 月 1 日現在・・・小学部 3 名、中学部 9 名、高等部 7 名 合計 19 名

ひまわり室		島袋志・窪田和郁芳	
中郷 楓奈	高 1	上地健・石嶺八重子	
砂川 萌乃香	中 2	上地真・池田真紀子・小濱愛里佳	
与那原 愛音	小 5	小渡和歌子・橋本剛	
ゆり室		與那原可愛・長崎由紀乃	
嵩原 ゆい	高 3	福里猛・濱川元恵	
与那覇 皐	中 3	上地真・池田真紀子・小濱愛里佳	
上地 ひより	中 2	上地真・池田真紀子・小濱愛里佳	
さくら室		小野陽一朗・謝花大稀	
山本 麗音	高 3	福里猛・濱川元恵	
川満 光舟	高 2	渡久地幸太、宜保寿人	
川上 竜弥	中 3	金城忠人・楚南沙織	
砂川 明夢叶	中 3	松本勝利・芳山忠輝	

ばら室		友利光佑・下地裕太	
柏木 崇志	高 3	平良優貴・下地正也	
松川 杏輝	中 3	松本勝利・芳山忠輝	
儀保 七雄太	中 2	金城忠人・楚南沙織	
きく室		安里洋介・川満璃音	
大橋 拓弥	高 2	渡久地幸太、宜保寿人	
與座 颯希	中 3	松本勝利・芳山忠輝	
金城 和斗	小 4	新城こずえ・渡真利大輔・親泊さゆり	
すみれ室		川満管子・島袋義規	
當間 勝幸	高 1	上地健・石嶺八重子	
上地 司真	中 3	松本勝利・芳山忠輝	
奥間 仁斗	小 5	小渡和歌子・橋本剛	



にっか ひょう
日課表

じかん 時間	ないよう 内容	
6:30	き しょう 起床	※週直(起床の放送担当)は、6:30に全体放送をおこなう。
7:00		ふ とん か た づ は 布団の片付け、歯みがき、洗面、着替え、検温
7:10	あさ つど 朝の集い	ラジオ体操など
8:00	ちよう しょく 朝食	しよくじじゅんび はいぜん しよくじ ふくやく あとかたづ 食事準備、配膳、食事、服薬、後片付け
8:30	とうこうじゅんび 登校準備	は 歯みがき、制服着替え、水筒準備など
8:40	しゅうごう とうこう 集合、登校	み も ものかくにん 身なり、持ち物確認など
15:	がっ こう にっ か 学 校 日 課	
※金曜日のみ 小・中 14:20	げ こう 下校	けんおん すいとうあら き が せいりせいとん 検温、水筒洗い、着替え、整理整頓、 にゅうよくじゅんび あした じゅんび 入浴準備、明日の準備など
	にゅうよく せんたく がくしゅう よ か かつどう 入浴、洗濯、学習、余暇活動など	
	すい び ぜんたいせいそう 15:30 ※ 水よう日:全体清掃、おやつ ぜんたいぎょうじ 16:00 ※ 全体行事など	
17:25	ゆう しょく 夕食	しよくじじゅんび はいぜん しよくじ ふくやく あとかたづ 食事準備、配膳、食事(17:40)、服薬、後片付け
18:20	せい そう 清掃	しゅうちよくかつどう プレイルーム・週直活動など
18:30	へ や せいそう は せんめん せんたく 部屋清掃、歯みがき、洗面、洗濯、 ぜんたいぎょうじ がくしゅう よ か かつどう 全体行事、学習、余暇活動など	
19:50	しゅうしんじゅんび 就寝準備	き が しゅうしんじゅんび けんおん 着替え、就寝準備、うがい、検温、トイレ
20:00	てん こ 点呼	いちにち ふ かえ よくじつ にっていかくにん 一日の振り返り、翌日の日程確認など
	しょう とう しゅう しん 消灯・就寝	
21:20	えん とう 延 灯	※中学部・高等部21:20まで

令和7年度寄宿舍年間行事計画

行事名	ねらい	担当
親睦会	* 楽しく寄宿舍生活が送れるように親睦を深める。	行事係
誕生会	* 互いの誕生日をみんなで祝うとともに、楽しく交流を深める。	〃
お楽しみ夕食会	* 1学期の努力をねぎらい、今後の日課活動への頑張りにつなげる。	〃
クリスマス会	* 舎生、職員と楽しい夕食時間を過ごしながら季節行事を感じる。	〃
お別れ会	* これまで一緒に過ごしてきた仲間と1年間を振り返り、楽しいひと時を過ごす。	〃
舎生オリエンテーション	* 寄宿舍生活での日課について理解し、楽しく集団生活を過ごせるようにする。	舎友会生活係
延灯ルール・マナー学習会	* 延灯時間の過ごし方、ルールやマナーについて学ぶ。	〃
学習会①～⑤ (心と体の学習会、生活)	* 集団生活におけるルールやマナーを身につけるとともに、良好な人間関係を築く。 * 自己理解、他者理解を深め自己肯定感や他者に対する思いやりの心を育む。	〃
舎友会役員選挙	* 一人一人投票に参加することで自治活動への関心を高める。	〃
舎友会総会①～②	* 自分たちの寄宿舍生活を築いていくために自分の意見や考えを相手に伝えたり話し合ったりする。	〃
全体レク①～③	* 主体的なレクの企画運営を通して、レクを楽しみながら仲間同士の親睦を深める。	〃
火災・地震津波避難訓練	* 予測できない災害に際して、舎生が安全かつ迅速に行動がとれるように、正しい認識を高める。	保健安全係
不審者対応避難訓練	* 不審者に遭遇した場合に、安全な行動ができるよう防犯知識を養う。	〃
食事マナー学習会	* バランス良く食事を摂る事は、健康に繋がる事を知る。 * 仲間と一緒に楽しみながらも、食事マナーを守る態度を育てる。	〃
清掃学習会	* 正しい清掃の方法を学習し、身につける。 * 舎内外を清潔に保つ責任感を持つ。	〃
清掃活動	* 寄宿舍内外の清掃を通して、快適に生活する環境を作る。 * みんなで協力して活動に取り組む姿勢を育てる。 【部屋】【舎外】【全体】【年末】【年度末】【部屋清掃週間】など	〃
歯ッピーウィーク	* 染め出し液を使用し、丁寧に磨く習慣を身につける。 * 自分の口の中や歯の健康について関心をもつ。	〃
入舎懇談会	* 新入舎生を温かく迎え、舎生活がスムーズに営まれるようにする。 * 保護者に寄宿舍への理解と協力を求める。	庶務係
体験入舎(前・後期)	* 本校児童生徒に、寄宿舍の生活を経験してもらい寄宿舍に対する興味や関心を高める機会とする。	〃
寄宿舍参観(年2回)	* 保護者、職員間の連携を取り、寄宿舍教育の充実を図る。	〃
入舎募集説明会	* 寄宿舍について理解を深めてもらい入舎を募る。	〃
学舎情報交換期間	* 学部と寄宿舍の現状を確認し、統一した指導を目指す。 * 学担と部屋担の話し合いを通して今後の指導に役立てる。	庶務係 (舎監長)

○ 各学期の寄宿舍行事一覧

一学期	4月	入舎懇談会、舎生オリエンテーション、清掃学習会、食事マナー学習会①、携帯ルールマナー学習会、親睦会
	5月	地震津波避難訓練、寄宿舍参観日、舎友会役員選挙、舎友会役員、係会（発足式）1学期誕生会、不審者避難訓練、自立の部屋学習会
	6月	舎友会総会①、前期体験入舎、歯科講話、心と体の学習会①、延灯ルールマナー学習会全体レク①
	7月	舎外清掃①、お楽しみ夕食会
二学期	9月	舎外清掃②、心と体の学習会②、全体レク②
	10月	食事マナー学習会②、2学期誕生会、後期体験入舎①、火災避難訓練
	11月	寄宿舍参観、心と体の学習会③、舎食感謝デー、部屋長会
	12月	係会、クリスマス会、心と体の学習会④
三学期	1月	3学期誕生会、全体レク③、心と体の学習会⑤
	2月	係会、舎友会総会②、お別れ会
その他…部屋会、歯ピィーウィーク（毎月初旬）、全体清掃（週1回）、部屋清掃、部屋清掃週間（学期末）		

○ 寄宿舍運営費（舎費）について

- （1）寄宿舍運営費（舎費）は、月額2,200円（8月を除く年間合計24,200円）とする。
- （2）寄宿舍運営費の徴収は、沖縄県立宮古特別支援学校寄宿舍運営規則第19条に基づいて行う。

○ 寄宿舍の防災対策

1 非常災害対策

（1）基本方針

- ① 舎監、寄宿舍指導員は互いに協力して、舎生の避難・誘導を行う。
- ② 災害発生時には、関係方面（救急、消防署等や校長、教頭、寮務主任）に緊急連絡をとり対処する。

（2）平素の心得

- ① 舎監、寄宿舍指導員は、平素から防火器材用具等を点検し、避難経路、避難場所等を把握しておく。
- ② 身の回りの整理整頓に努め、災害時には舎生が落ち着いて行動がとれるよう指導を十分に行う。
- ③ 夜間の戸締りを厳重にし、盗難防止や予防に努める。
- ④ 舎生の動態や人数を把握できるよう、職員間の連携を図る。

（3）防火施設・設備

- ① 報知器・消火栓 …… 2ヶ所（ゆり室横、男子トイレ横）
- ② 感知器（熱・煙） …… 27ヶ所（各居室、廊下、自立の部屋、談話室など）
- ③ 消火器 …… 3ヶ所（3個）（ゆり室横、男子トイレ横、職員室）

（4）避難場所

- ① 第1避難場所 …… 学校玄関前（火災時）、寄宿舍前駐車場（地震・津波時）
- ② 第2避難場所 …… 体育館2階または、野田の森（地震・津波時）

寄宿舎 緊急時対応一覧表

	舎監	宿直男子	宿直女子	宿直フリー
地震津波	1.非常口を確保、解錠 2.避難誘導 3.要介助舎生と避難 4.避難場所での安全管理 5.管理者、保護者、関係機関へ連絡	1.避難誘導 2.要介助舎生と避難 3.避難場所での安全管理 4.舎生の人員確認、舎監へ報告	1.避難誘導 2.要介助舎生と避難 3.避難場所での安全管理 4.舎生の人員確認、舎監へ報告	1.大声で避難誘導 2.逃げ遅れがないか舎内最終確認 3.非常持ち出し袋、AEDを持って避難場所へ
※ 津波発生の恐れがある場合は高台避難。（体育館2階外階段もしくは野田の森）				
火災 ※避難場所は出火元によって変わる	同上	同上	同上	1.火元確認後、大声で知らせる 2.非常ベルを押す 3.初期消火 4.逃げ遅れがないか舎内確認 5.非常持ち出し袋、AEDを持って避難場所へ
不審者	1.声かけ 2.退去要請 → 正当な理由なく退去に応じない場合は 不審者 と見なし以下対応 3.男子宿直:舎生から離れた場所へ隔離 女子宿直:110番通報(女子宿直) 4.男子職員:緊急体制(移動の阻止、防御、牽制)、女子職員:舎生の保護(避難誘導、安全確保) 5.警察への引き渡し、管理者への報告			
ケガ・疾病	1.発見職員:状況把握及び応急手当等、他の職員へ応援要請 2.舎監:管理者への連絡、宿直職員:保護者への連絡 ※状況に応じて → 発見職員:医療機関への連絡(119番) 3.他の舎生の安全管理			

VI 令和7年度スクールバス運行表

2025/4/22 現在

1号車登校時(迎え)

バス停番号	バス停	時 間
1	学校発	7:05
2	北中学校(ギフト根間前)	7:17
3	伊良部工業前 →名称変更ドラッグ11東仲宗根 店前	7:20
4	安全学校前(鏡原バス停)	7:27
5	中休みバス停前	7:30
6	砂川のり自動車前	7:35
7	砂川郵便局前(砂川方面)	7:41
8	市営高田団地前(上野)	7:47
9	上野第1団地前	7:52
10	洲鎌バス停	7:55
11	下地改善センター前	8:02
12	マイホームとくやま前	8:14
16	漲水学園前	8:30
1	学校着	8:40

2号車登校時(迎え)

バス停番号	バス停	時 間
1	学校発	7:55
3	伊良部工業前 →名称変更ドラッグ11東仲宗根 店前	8:10
17	とんかつ一番前	8:15
13	ぷちまあと前	8:19
14	西里郵便局前	8:22
15	パパのケーキ	8:25
16	漲水学園前	8:30
1	学校着	8:40

※令和7年度は満月食堂前7:58(学校近く)も臨時運行

1号車下校時(送り) ※下校(送り)は1号車のみ

No.	バス停	11:40下校	13:30下校	14:20下校	15:20下校
1	学校発	11:40	13:30	14:20	15:20
16	漲水学園前	11:50	13:40	14:30	15:30
15	パパのケーキ	11:55	13:45		15:35
14	西里郵便局前	11:58	13:48		15:38
13	ぷちまあと前	12:01	13:51		15:41
12	マイホームとくやま前	12:06	13:56		15:46
11	下地改善センター前	12:18	14:08		15:58
10	洲鎌バス停	12:21	14:11		16:01
9	上野第1団地前	12:28	14:18		16:08
8	市営高田団地前(上野)	12:33	14:23		16:13
7	砂川郵便局前(砂川方面)	12:39	14:29		16:19
6	砂川のり自動車前	12:45	14:35		16:25
5	中休みバス停前	12:50	14:40		16:30
4	安全学校前(鏡原バス停)	12:53	14:43		16:33
17	ソタヤ前	12:57	14:47		16:37
3	伊良部工業前 →名称変更ドラッグ11東仲宗根 店前	13:00	14:50		16:40
2	北中学校(ギフト根間前)	13:03	14:53		16:43
1	学校着	13:15	15:05	14:45	16:55

注) 14:20下校時は、2便(15:20発)対応のため、漲水学園前までの運行となります。

スクールバス利用人数

	小	中	高	計
朝1号車(迎え)	16	3	6	25
朝2号車(迎え)	11	3	6	20
帰リ1号車(送り)	3	5	13	21

※帰りは1号車のみ

